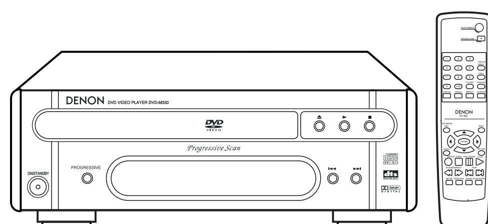
DENON

取扱説明書

DVD-M330

DVD VIDEO PLAYER

DVDビデオプレーヤー



安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保管してください。

目　次

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

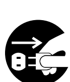
[絵表示の例]



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

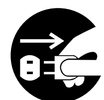


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■ 安全上お守りいただきたいこと

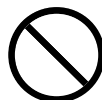
万一異常が発生したら、
電源プラグをすぐに抜く



電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

内部に異物を入れない



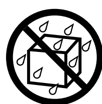
通風孔・ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告 つづき

■ 安全上お守りいただきたいこと

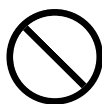
水が入ったり、濡らしたりしないように



雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に





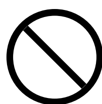
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（裏ぶた）を外したり、改造したりしない



内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で



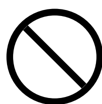
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら



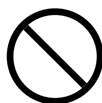
電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない



電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は



まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 取り扱いについて

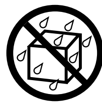
風呂・シャワー室では使用しない



水場での
使用禁止

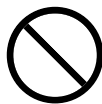
火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない



こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

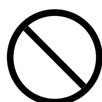


万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

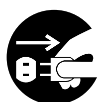
■ 安全上お守りいただきたいこと

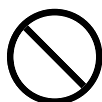
電源コードを熱器具に近付けない



コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは





電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない



手を挟まれないよう注意

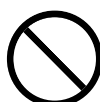


指のケガに注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

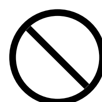
電池を交換する場合は





極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

レーザー光源をのぞき込まない



レーザー光が目に当ると視力障害を起こすことがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする



突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

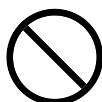


テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠ 注 意 つづき

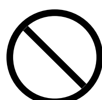
■ 置き場所について

不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない



火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど、高温になるところ

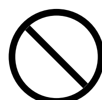
壁や他の機器から少し離して設置する



壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■ 取り扱いについて

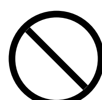
通風孔をふさがない



内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

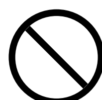
- 仰向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない



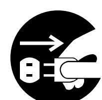
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

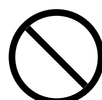


機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は



まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



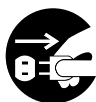
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注 意 つづき

■ 使わないときは

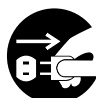
長時間の外出・旅行の場合は



安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ お手入れについて

お手入れの際は



安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を



販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

ステレオ音のエチケット



◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき正常に動作しなくなることがあります。
結露は夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



■結露後の処置は

◎結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。
◎ディスクに露がついている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

■ 本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、テレビ放送の電波状態によりしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってご覧ください。

著作権について

■ ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

FMやAM放送を受信している場合

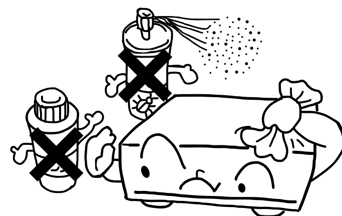
■ FMやAM放送を受信しているときに本機の電源が入っているとFMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときは電源を切っておいてください。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは柔らかい布を使用し、軽く拭き取ってください。

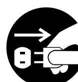
◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。



使わないときは

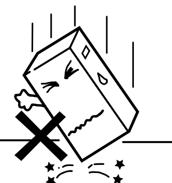
■ふだん使わないとき



◎必ずディスクを取り出し、電源を切ってください。
◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

■移動させるとき

◎床などを傷つける恐れがありますので、引きずらないでください。
◎衝撃を与えないでください。
◎必ずディスクを取り出し、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。



3 ディスクについて

★本機で再生できるディスクは下記の種類です。
ディスクのマークはディスクのレーベル、またはジャケットについています。

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	記録されているもの	ディスクの大きさ
DVDビデオ DVDオーディオ＜注1＞	DVD VIDEO	デジタル音声＋デジタル映像（MPEG2方式）	12cm
DVD-R＜注2＞	DVD R		8cm
DVD-RW＜注2＞	DVD RW		
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	デジタル音声＋デジタル映像（MPEG1方式）	12cm 8cm
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	デジタル音声 MP3 WMA デジタル画像（JPEG方式）	12cm
CD-R＜注3＞	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable		
CD-RW＜注3＞	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable		8cm
ピクチャーCD	Kodak Picture CD COMPATIBLE	デジタル画像（JPEG方式）	12cm

■下記のディスクは再生できません。

- リージョン番号が『2』または『ALL』以外のDVD
- DVDオーディオ＜注4＞
- DVD-ROM/RAM
- SACD
- CD-ROM（MP3、JPEGファイルは再生可能）
- VSD/CVD/SVCD
- CDV（**オーディオパートのみ再生できます。**）
- CD-G
  （音声は出力されますが、画像は出力されません。）
- フォトCD

など

＜注1＞：DVDビデオ、ビデオCDの中には、ソフト製作者の意図により、本書の説明通りに動作しないディスクがあります。

＜注2＞：本機はDVDレコーダーでビデオフォーマット記録されたDVD-R/RWディスクを再生することができます。なお、ディスクの記録状態によってはディスクを受け付けなかったり、映像や音声が途切れるなど正常に再生できないことがあります。また、ファイナライズをおこなっていないディスクは再生できません。

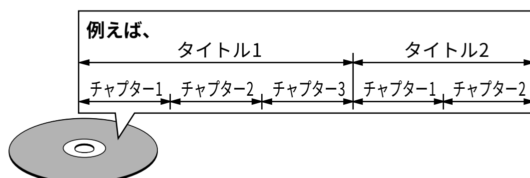
＜注3＞：CD-R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

＜注4＞：DVDオーディオは、DVDビデオ規格のビデオパートのみ再生できます。

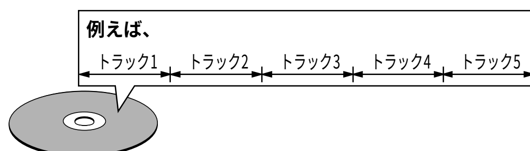
ディスクについて（つづき）

■ディスクに関する用語について

- **タイトル、チャプター**（DVDビデオ）
DVDビデオは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられています。それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。



- **トラック**（ビデオCD/音楽CD）
ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。この区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号と呼びます。



- **プレイバックコントロール**（ビデオCD）
『プレイバックコントロール付き』などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。
本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオCDの『**メニュー再生**』と呼びます。
本機はプレイバックコントロール付きビデオCDに対応しています。

ご注意

- 本機は、国ごとに割り当てられた番号（リージョン番号）がDVDディスクに表示されている場合には、DVDディスクと本機のリージョン番号が一致しないと再生できません。

本機のリージョン番号は 2 です。



4 主な特長

1．高精度96kHz-24bit D/A Converter 搭載

24bitのハイクオリティデータを忠実にD/A変換するために、24bit D/Aコンバーターを採用しています。これにより、S/N・ダイナミックレンジ・歪みなどのオーディオ性能をさらに引き出すとともに、ハイビット/ハイサンプリング化による高音質を充分に堪能できます。

2. PROGRESSIVE SCAN機能搭載

PROGRESSIVE SCAN機能を搭載し、高画質再生を実現。また、転送レートに優れたD2端子も合わせて採用しています。

プログレッシブスキャンとは

従来のインターレース方式に比べて映像情報が倍になるため、画面のチラツキや輪郭のギザギザの少ないクリアな映像が得られます。

3. 便利なシステム機能

AVC-M330、DMD-M33、DRR-M33とシステムコードで接続して使用するとCDシンクロ録音、オートファンクション、オートパワーオンなどの操作が簡単にできるシステム機能を装備しています。

4. 横幅210mmのスリムデザイン、アルミパネルを採用

横幅210mmのスリムデザイン、アルミパネルを採用したエレガントな仕上がりが、一層のインテリア性を実現しています。

5. 多彩な機能をお楽しみいただけます

(1) ピクチャーCD、MP3再生機能 ＜注1＞

本機はKODAK社がおこなっていますピクチャーCDを再生することができます。
また、CD-R/RWに記録したJPEG方式の静止画像やMP3も再生することができます。

(2) マルチ音声機能

最大6ヵ国語の音声言語から、お好みの音声言語に切り替えて楽しむことができます。
(音声言語数はDVDソフトにより異なります。)

(3) マルチ字幕機能

最大6ヵ国語の字幕言語から、お好みの字幕言語に切り替えて楽しむことができます。
(字幕言語数はDVDソフトにより異なります。)

(4) マルチアングル機能

見たいアングル（角度）に変えて楽しむことができます。
(複数のアングルが記録されているDVDソフトに限ります。)

(5) GUI（Graphical User Interface）機能

リモコンのDISPLAYボタンを押すことで、本機に関する情報やディスクの情報を、わかりやすくテレビ画面上に表示します。

(6) 視聴制限機能

お子様などに見せたくないDVDソフトを再生できなくすることができます。

＜注1＞：“ KODAK ” はイーストマン・コダック社の登録商標です。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。“ Dolby ” およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- “ DTS ” および “ DTS Digital Surround ” はデジタル・シアター・システムズ社の登録商標です。

5 付属品について

★梱包箱の中には下記の付属品が入っています。ご使用の前にご確認ください。

オーディオコード　1本	ビデオコード　1本	光接続コード　1本
リモコン（RC-963）　1個	単4乾電池　2本	システムコード　1本
取扱説明書（本書） 1冊	製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表 1枚	保証書 （梱包箱に貼り付けられています。）

ご注意

- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物とは異なる場合があります。

6 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

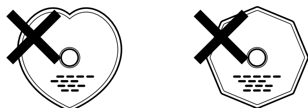
5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。

※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

7 ディスクの取り扱いとご注意

ディスクについて

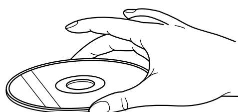
本機で再生できるディスクは、8ページにあるマークがついているものです。
但し、ハート形や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因となりますのでご使用にならないでください。



ディスクの持ちかた

ディスクを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

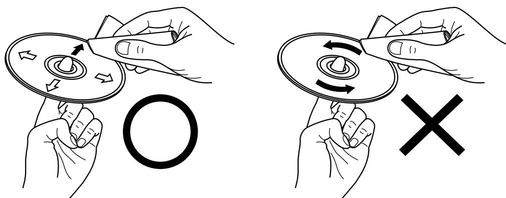
信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などをつけないようにしてください。



ディスクのお手入れのしかた

■ ディスクに指紋や汚れが付いた場合、音質や画質が低下したり、途切れることがありますので、拭きとってからご使用ください。

■ 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽く拭く。　円周に沿っては拭かない。

ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。



取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどをつけないでください。
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと表面に水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  1．直射日光が長時間当たるところ
  2．湿気・ほこりなどが多いところ
  3．暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクを装着する際のご注意

- ディスクは1枚だけ装着してください。2枚以上重ねて装着すると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。
- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに確実にディスクガイド（凹部）に合わせて装着してください。正しく装着しないとディスクが脱落しディスクトレイが開かなくなることがあります。
- ディスクトレイが引き込まれるときに指を挟まないようにご注意ください。
- ディスク以外のものをディスクトレイに載せないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままDVDプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

8 接続のしかた

（1）AVC-M330、DMD-M33、DRR-M33（システム接続）

★ AVC-M330以外のAVアンプと接続する場合は、*3* の接続をおこなう必要はありません。この場合、オートパワーオン機能などすべてのシステム機能は動作しません。

★ 各ユニット間のすべてのステレオ音声コードおよびシステムコードを接続しないと、オートパワーオン機能などのシステム動作がおこなわれません。各ユニット間のすべての接続コードは確実に接続してください。

★ 動作中にシステムコードを抜くと誤動作の原因になりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後で接続の変更をおこなってください。

★ AVアンプ（AVC-M330）の通風孔をふさがないように配置してください。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因になります。
- 電源コードと接続コード類を一緒に束ねると、ハムや雑音の原因になることがあります。
- 一度電源プラグをコンセントから抜いた場合は、約5秒程度経ってからもう一度コンセントに差し込んでください。

1	**本機に付属のステレオ音声コードで、本機のライン出力端子（LINE OUT）とAVアンプの入力端子（INPUT DVD）を接続します。**
2	**本機に付属の光接続コードで、本機のデジタル出力端子（DIGITAL OPTICAL OUT1または2）とAVアンプのデジタル入力端子（DIGITAL OPTICAL IN DVD）を接続します。**
3	**本機に付属のシステムコードで、本機のシステム端子（SYSTEM CONNECTOR 1または2）と他の機器のシステム端子（SYSTEM CONNECTOR 1または2）を接続します。**
4	**光接続コードで、本機のデジタル出力端子（DIGITAL OPTICAL OUT 1または2）とMDレコーダーのデジタル入力端子（DIGITAL OPTICAL IN 1または2）を接続します。**
5	**本機の電源プラグを電源のコンセントに差し込みます。**

※ AVC-M330以外のAVアンプ、レシーバーまたはプリメインアンプと接続しても使用することができます。
この場合、オートパワーオン機能などすべてのシステム機能ははたらきません。

※ システム接続を行ったあとに（2）映像端子、S端子または（3）D2端子を接続して下さい。

接続のしかた（つづき）

MDレコーダー
（DMD-M33）（別売り）
※ イラストは、DMD-M33です。

AVアンプ
（AVC-M330）（別売り）
※ イラストは、AVC-M330です。

電源コンセント
AC100V 50/60Hz

他の機器のあいている端子に差し込みます。
1か2に差し込んでください。

電源コンセント
AC100V 50/60Hz

本機
（DVD-M330）

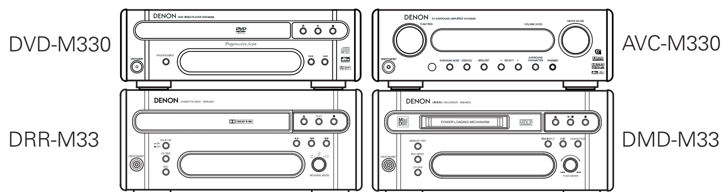
3 3 4 2 1 5

電源コンセント
AC100V 50/60Hz

※ AVC-M330、DMD-M33、DRR-M33の全ユニットのシステム接続のしかたは、AVC-M330の取扱説明書をご覧ください。

■ 推奨システムセッティングについて

◎AVC-M330、DMD-M33、DRR-M33でのシステムセッティングは性能・安定性を確保するため下記のようにおこなってください。

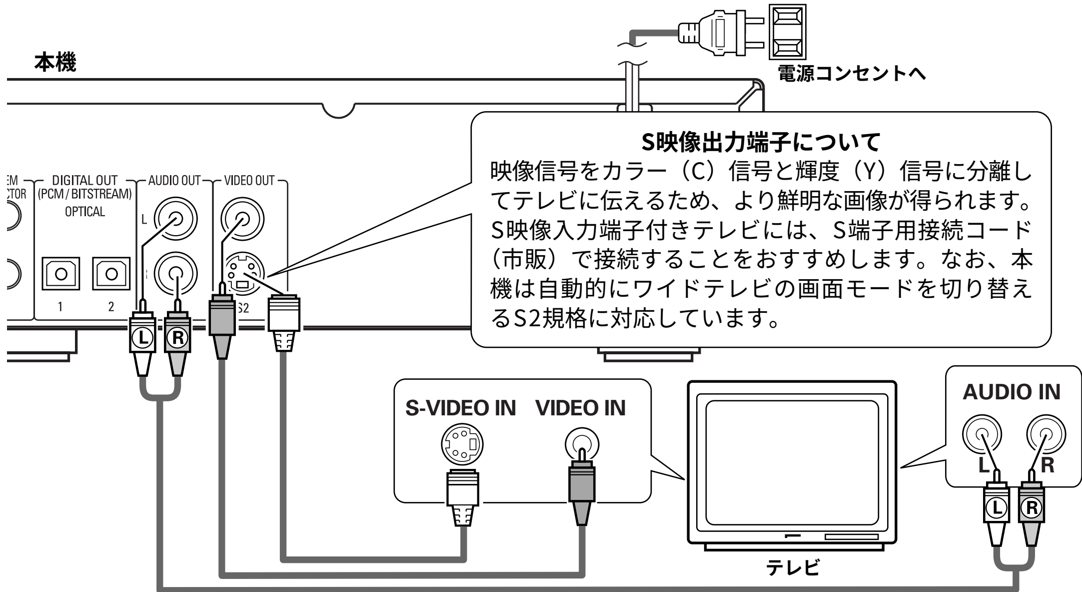


ご注意

- AVアンプ（AVC-M330）の上に他の機器を直接重ねないでください。放熱のため、通風孔をふさがないよう10cm以上離してください。
- 安全性確保のため、機器の積み重ねは3段までにしてください。

（2）ワイドテレビ/AVテレビと接続する（映像端子、S映像端子）

- 付属のオーディオ、ビデオコードを使用して、音声はテレビの音声入力端子と本機のAUDIO OUT端子を接続し、映像はテレビの映像入力端子と本機のVIDEO OUT端子、または市販のS端子用コードでS-VIDEO OUT端子を接続します。
- フロントパネル部ディスプレイ中の『P.SCAN』が消灯していることを確認してください。もし『P.SCAN』が点灯しているときは、フロントパネル部の“ PROGRESSIVE ”ボタンを押して『P.SCAN』を消灯させてください。『P.SCAN』が点灯していると正常な映像が出ません。



※音声ケーブルはAVアンプと接続するとより効果的な音声の再生ができます。

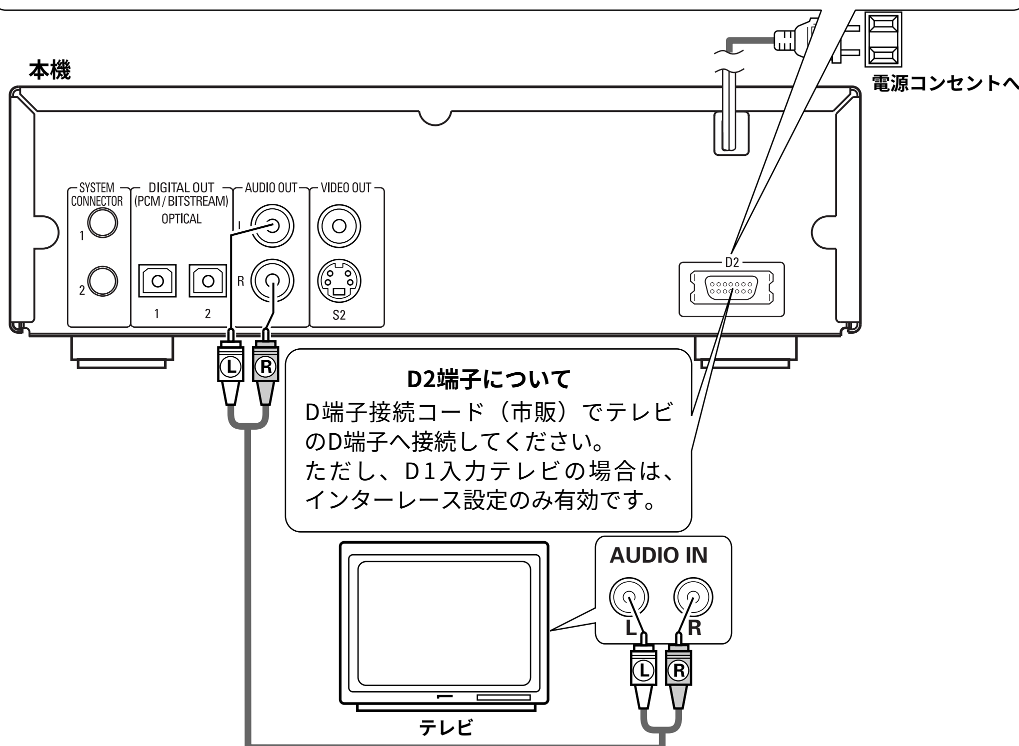
ご注意

- 本機の映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。
  VTR（ビデオテープレコーダ）経由で接続しないでください。
  (ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生するとコピーガードシステムにより、画面が乱れることがあります。)
- ワイドテレビと接続する場合は、
  『初期設定』で『映像設定』の『TVアスペクト』を『ワイド』に設定してください。
  また、通常のテレビと接続する場合は『4：3 PS』、または『4：3 LB』に設定してください。
  （29、30ページ参照。なお、工場出荷時は『4：3PS』に設定されています。）
- 4:3画面サイズのDVD、静止画ファイル（JPEG）、ビデオCDを再生して画像が横長などになったときは、ワイドテレビ側で画面サイズを調整してください。
- DTSで収録されたディスクを再生したとき、本機のAUDIO OUTからは音声は出力されません。
  （17ページ参照）

接続のしかた（つづき）

（3）D2端子付きテレビ/モニタと接続する（D2端子）

- お使いのテレビがプログレッシブスキャンに対応しているときは、フロントパネル部の“ PROGRESSIVE ”ボタンを押しディスプレイ中の『P.SCAN』を点灯させてください。D2端子に接続するとチラツキの少ない高画質な映像で再生できます。（『P.SCAN』点灯中は、映像出力（VIDEO OUT）およびS映像出力（S-VIDEO OUT）からは、映像出力されません）
- “ PROGRESSIVE ”ボタンは『初期設定』の『映像設定』中の『TVタイプ』がNTSCに設定されている場合に有効になります。（29ページ参照）



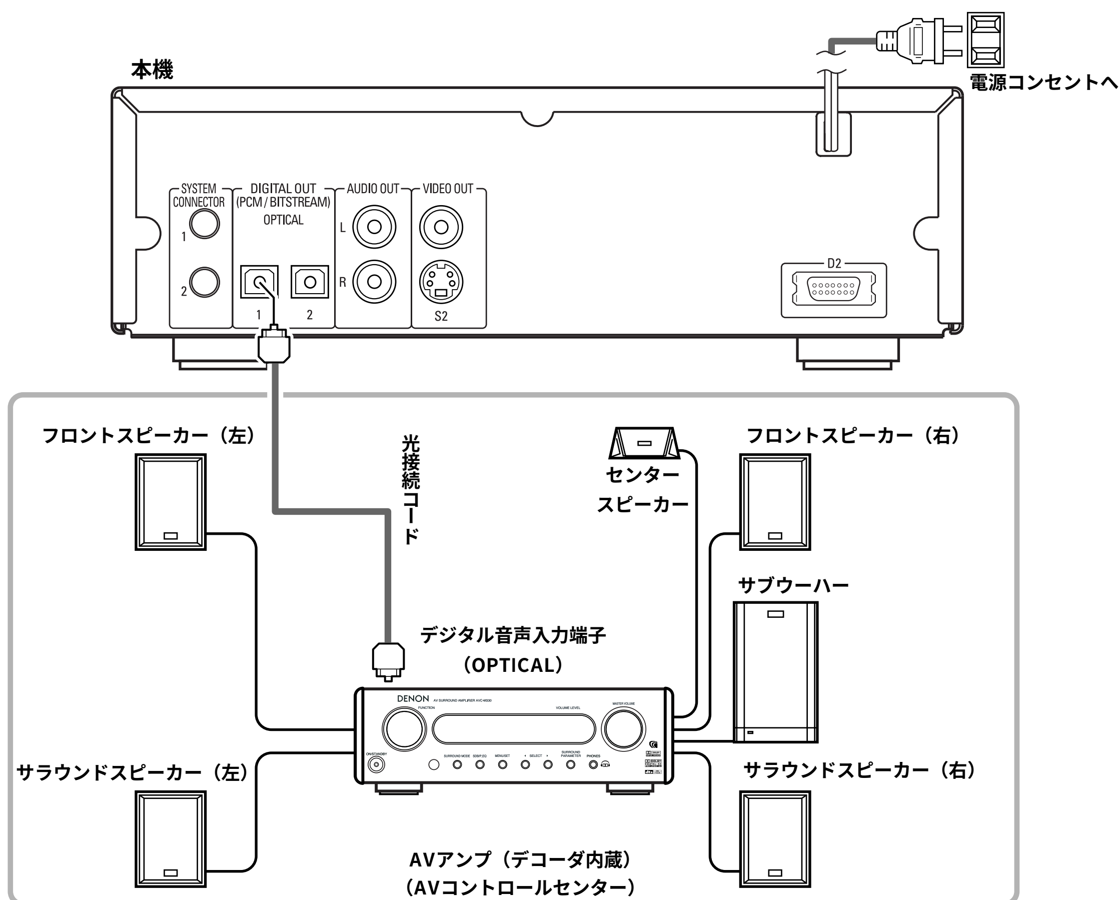
※音声ケーブルはAVアンプと接続するとより効果的な音声の再生ができます。

ご注意

- ワイドテレビと接続する場合は『初期設定』で『映像設定の』『TVアスペクト』をワイドに設定してください。また、通常のテレビと接続する場合は『4：3PS』または、『4：3LB』に設定してください。（29ページ参照。なお、工場出荷時は『4：3PS』に設定されています。）
- 本機のプログレッシブ出力（525P）は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては、本機のプログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、フロントパネル部の“ PROGRESSIVE ”ボタンを押しディスプレイ中の『P.SCAN』を消灯させてください。
- D端子（D2）のみ、プログレッシブ映像出力とインターレース映像出力を切り替えることができます。映像出力（VIDEO OUT）及びS映像出力（S-VIDEO OUT）に対してプログレッシブ映像出力は設定できません。
- DTSで収録されたDVDを再生したとき、本機のAUDIO OUTからは音声は出力されません。（17ページ参照）

（4）デコーダ内蔵のAVアンプとデジタル接続する

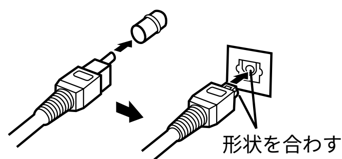
★ドルビーデジタルまたはDTSで収録されたDVDの再生時は、本機のデジタル音声出力端子からドルビーデジタルまたはDTSのビットストリームが出力されます。ドルビーデジタルデコーダまたはDTSデコーダ内蔵のAVアンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。



ご注意

- DTSに対応していないAVアンプ（デコーダ）を使用する場合は、DTSで収録されたDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- 著作権保護処理がされたリニアPCM、パックドPCMのDVDを再生する場合は、48kHz/16bitを超えるソースは著作権への配慮からデジタル出力されません。このようなソースを再生する場合は、『初期設定』で『音声設定』の『96kLPCM変換』を『96k＞48k』に設定（31、32ページ参照）するか、またはアナログ接続をおこなってください。(19ページ参照)
- 96kHz/88.2kHz未対応のAVアンプなどにデジタル接続する場合は、『初期設定』で『音声設定』の『96kLPCM変換』を『96k＞48k』に設定してください。（31、32ページ参照）

■デジタル音声出力端子（OPTICAL）に光接続コード（付属）接続するときは



形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

■本機のデジタル音声出力端子から出力される音声について

【ビットストリーム出力の場合】

	音声記録方式	設定 デジタル出力 NORMAL	設定 デジタル出力 PCM変換
DVDビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル ビットストリーム	2チャンネルPCM（48kHz /16bit）
	DTS	DTS ビットストリーム	

【PCM出力の場合】

	音声記録方式		設定 LPCM変換モード 96k 著作権保護あり	設定 LPCM変換モード 96k 著作権保護なし	設定 LPCM変換モード 96k→48k
DVDビデオ	リニアPCM	48kHz / 16〜24bit	出力しない ＊1	48kHz / 16〜24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
		96kHz / 16〜24bit	出力しない	96kHz / 16〜24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
ビデオCD	MPEG1		44.1kHz / 16bit PCM		44.1kHz / 16bit PCM
音楽CD	44.1kHz / 16bit リニアPCM		44.1kHz / 16bit PCM		44.1kHz / 16bit PCM
MP3 CD	MP3（MPEG-1 Audio Layer 3）		32〜48kHz / 16bit PCM		32〜48kHz / 16bit PCM

＊1：48kHz/16bitのソースは出力されます。

- マルチチャンネルのPCMソースについては2チャンネルにダウンミックスされます。
  （ダウンミックスが禁止されているソースでは、FL/FRのみ出力されます。）

ビットストリームとは

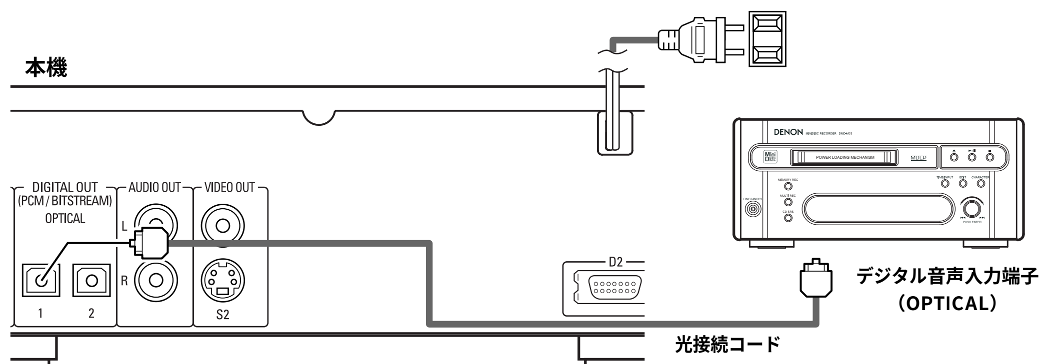
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
デコーダによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

リニアPCM（LPCM）とは

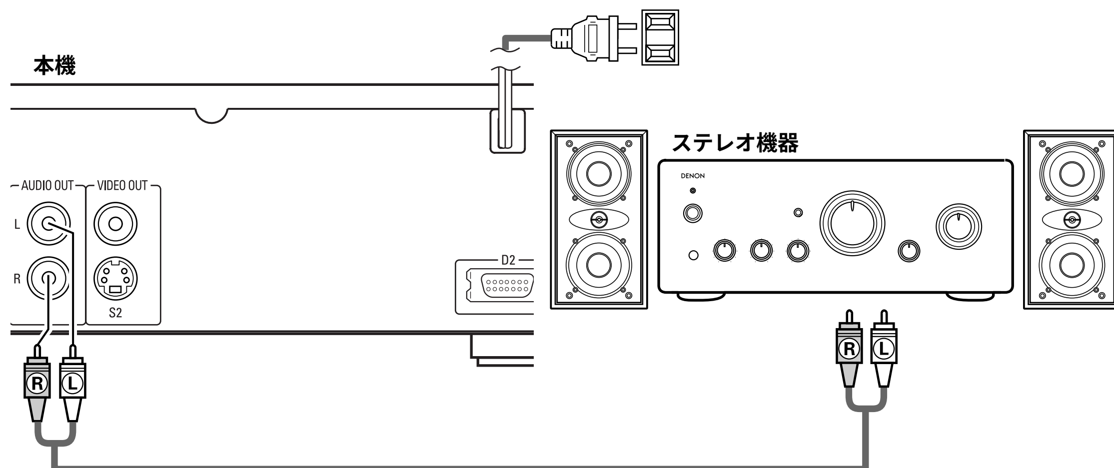
圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。（音楽CDに用いられている信号記録方式です。）
音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは44.1kHz/16bit〜96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

（5）MDレコーダーやDATデッキなどのデジタル録音機器と接続する

※**『初期設定』で『音声設定』の『デジタル出力』を『PCM変換』に設定してください。**（31、32ページ参照）
※**『初期設定』で『音声設定』の『96kLPCM変換』を『96k＞48k』に設定してください。**（31、32ページ参照）
正しく設定せずにDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。



（6）ステレオ機器と接続する

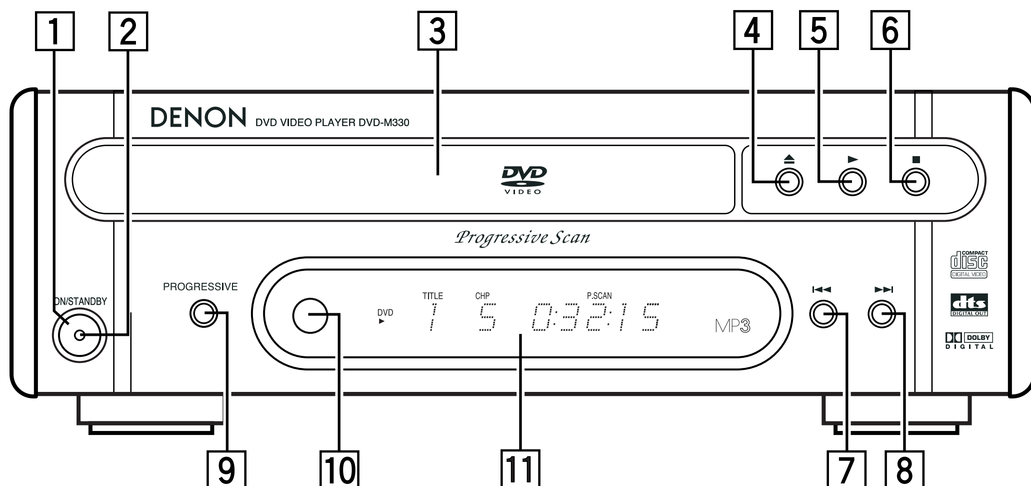


ご注意

- 2チャンネル音声のステレオ機器と接続する場合は、
  ①『システム設定』の『SET UPメニューモード』を『エキスパート』に設定後、『音声設定』の『ダウンミックス』を『ステレオ』もしくは『LT/RT』に設定してください。（32ページ参照）マルチチャンネルで記録されているソフトでは、2チャンネルにダウンミックスされたアナログ音声が出力されます。（ダウンミックスが禁止されているソースでは、FL/FRのみ出力されます。）
  ②『初期設定』で『音声設定』の『96kLPCM変換』を『96k＞48k』に設定してください。（31、32ページ参照）（『96k＞48k』に設定した場合、リニアPCMおよびパックドPCMのソースでは48kHz以下に変換されたアナログ音声が出力されます。）

9 各部の名前とはたらき

(1) フロントパネル



1 電源ボタン（ON/STANDBY）

- 押すと電源が『ON』します。もう一度押すと『STANDBY』状態になります。
- リモコンのDVD POWER ボタンを使っても本機の電源を『ON』、『STANDBY』にすることができます。

2 電源表示LED

- 状態によって次のように点灯します。
  ◎電源ON時：緑色
  ◎スタンバイ時：赤色

3 ディスクトレイ

- ディスクを装着するところです。
- 開閉するときは、4OPEN/CLOSEボタンを押してください。
- 再生ボタンを押しても閉じます。

4 OPEN/CLOSEボタン（⏏）

- ディスクトレイを開閉させるときに押します。

5 再生ボタン（▶）

- ディスクを再生するときに押します。

6 停止ボタン（■）

- ディスクの再生を停止させるときに押します。

7 スキップボタン（I◀◀）

- 再生中のトラック（チャプター）の頭出しをします。
- さらに押すと一つ前のトラック（チャプター）の頭出しをします。

8 スキップボタン（▶▶I）

- 次のトラック（チャプター）の頭出しをします。

9 プログレッシブボタン（PROGRESSIVE）

- プログレッシブ映像の出力設定をするときに押します。（15、16ページ参照）

10 リモコン受光部

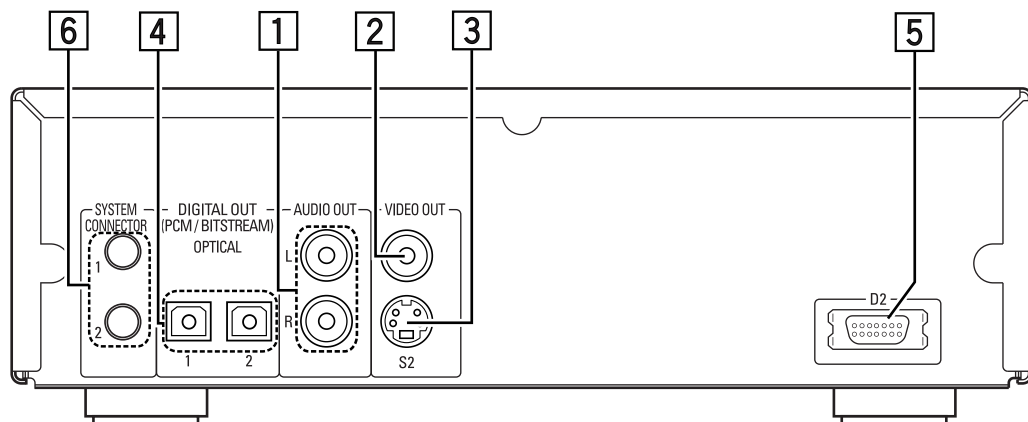
- 付属のリモコン（RC-963）をこの受光部に向けて操作してください。

11 ディスプレイ

- 22ページを参照してください。

各部の名前とはたらき（つづき）

(2) リアパネル



1 アナログ2チャンネル音声出力端子（AUDIO OUT）
- 付属のオーディオコードを接続します。

2 映像出力端子（VIDEO OUT）
- 付属のビデオコードを接続します。

3 S映像出力端子（S-VIDEO OUT）
- S端子用接続コード（市販）を接続します。

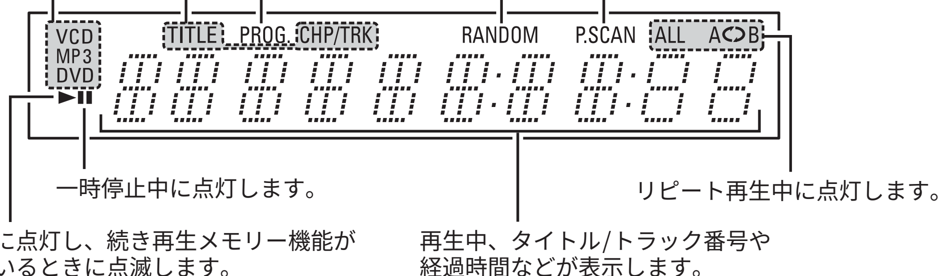
4 デジタル音声出力端子（OPTICAL）
- 付属の光接続コードを接続します。
- デジタルデータを出力します。

5 D2端子（D2）
- D端子用接続コード（市販）を接続します。

6 システム端子（SYSTEM CONNECTOR 1,2）
- AVC-M330、DMD-M33、DRR-M33と組み合わせて使用するときに付属のシステムコードで接続します。

各部の名前とはたらき（つづき）

(3) ディスプレイ

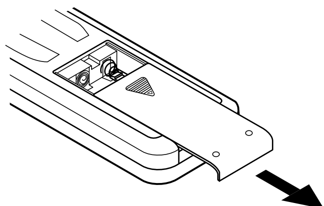


10 リモコンについて

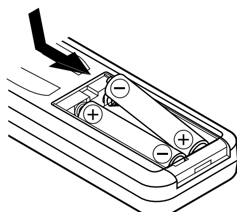
★付属のリモコン（RC-963）を使うと、離れたところから本システムをコントロールすることができます。

(1) 乾電池の入れかた

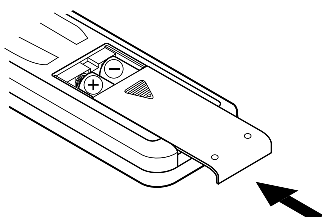
① リモコンの裏ぶたを外してください。



② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。



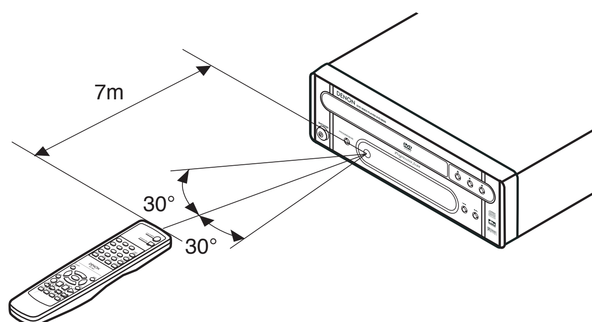
③ 裏ぶたを元通りにしてください。



ご注意

- リモコンには単4形乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくてもリモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損、液漏れの恐れがありますので、
  - ･新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ･違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ･乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

(2) リモコンの使いかた



- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。
- 直線距離で約7m離れたところまで使用できますが障害物があったり、リモコン受光部に向いていないと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。

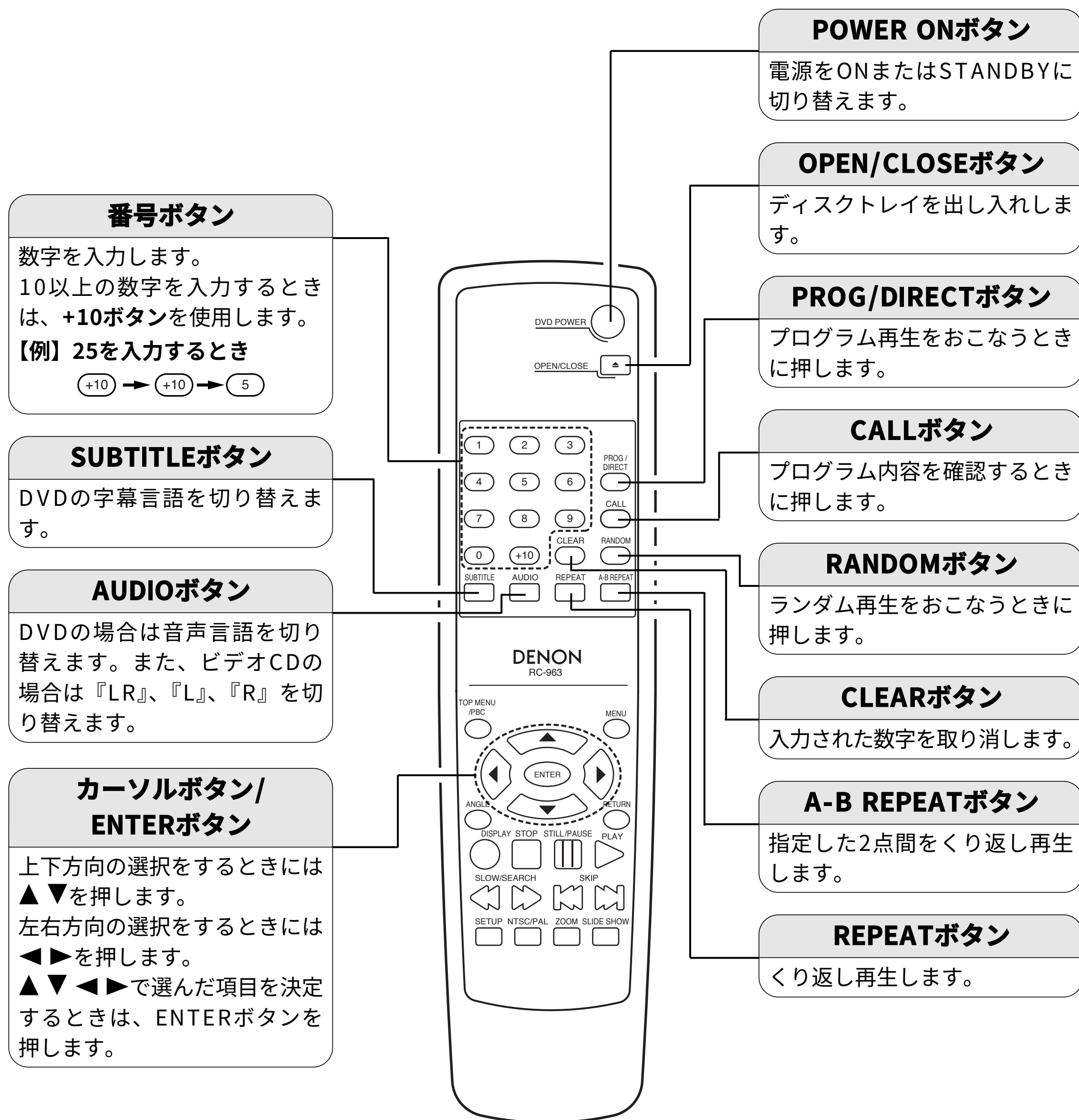
ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていたり、リモコン受光部との間に障害物があるとリモコンが動作しにくくなります。
- 本体とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

リモコンについて（つづき）

(3) リモコンボタンの名前とはたらき

★ 特に説明のないボタンは、本体と同じはたらきをします。（20、21ページ参照）



番号ボタン
数字を入力します。
10以上の数字を入力するときは、**+10ボタン**を使用します。
【例】25を入力するとき
(+10) → (+10) → (5)

SUBTITLEボタン
DVDの字幕言語を切り替えます。

AUDIOボタン
DVDの場合は音声言語を切り替えます。また、ビデオCDの場合は『LR』、『L』、『R』を切り替えます。

カーソルボタン/ENTERボタン
上下方向の選択をするときには▲ ▼を押します。
左右方向の選択をするときには◀ ▶を押します。
▲ ▼ ◀ ▶で選んだ項目を決定するときは、ENTERボタンを押します。

POWER ONボタン
電源をONまたはSTANDBYに切り替えます。

OPEN/CLOSEボタン
ディスクトレイを出し入れします。

PROG/DIRECTボタン
プログラム再生をおこなうときに押します。

CALLボタン
プログラム内容を確認するときに押します。

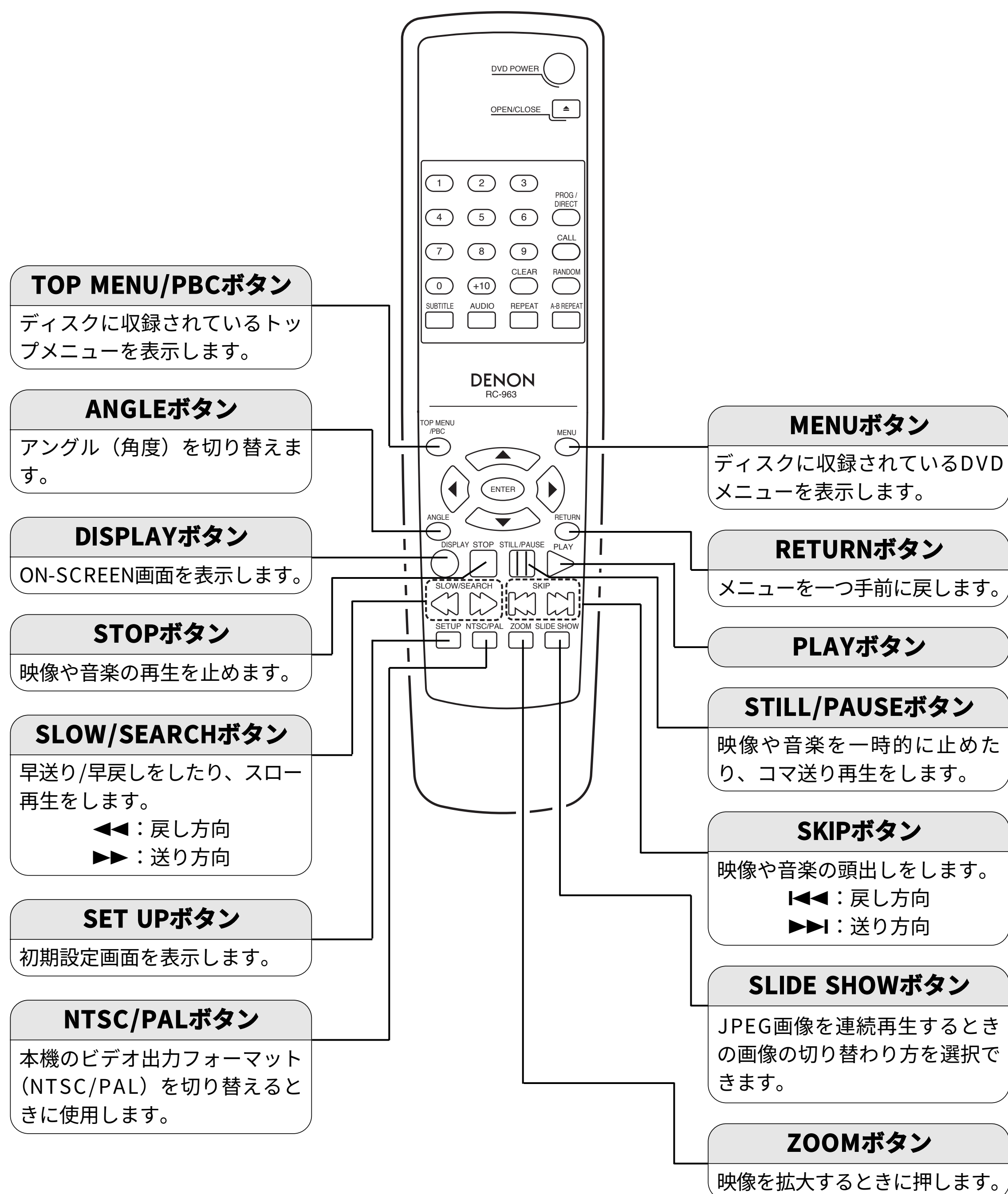
RANDOMボタン
ランダム再生をおこなうときに押します。

CLEARボタン
入力された数字を取り消します。

A-B REPEATボタン
指定した2点間をくり返し再生します。

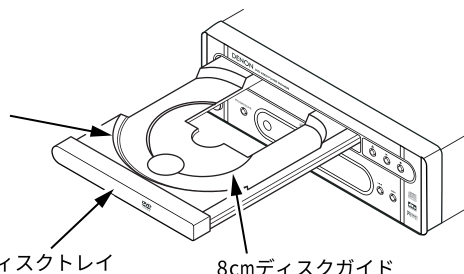
REPEATボタン
くり返し再生します。

リモコンについて（つづき）



11 ディスクの入れかた

★ディスクトレイにディスクを載せてください。

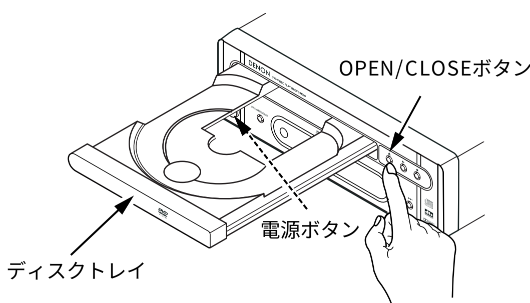


ご注意

ディスクを再生中に本機を移動させないでください。ディスクに傷を付けてしまいます。

（1）ディスクトレイの開閉

① 電源を入れてください。
② OPEN/CLOSEボタンを押してください。



ご注意

- ディスクトレイの開閉をするときは、必ず電源を入れてください。
- ボタンを鉛筆などで叩いたりしないでください。

（2）ディスクの入れかた

- ディスク情報面に手が触れないように持ち、ディスクトレイに載せてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを載せてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて水平に載せてください。
- OPEN/CLOSEボタンを押すと、ディスクは自動的に装着されます。
- ディスクトレイは、再生ボタン（▶）を押しても自動的に閉まり、ディスクを装着することができます。

図1

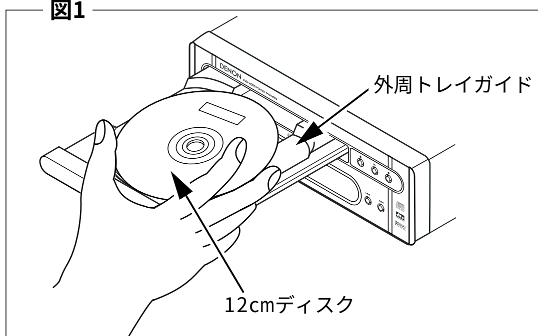
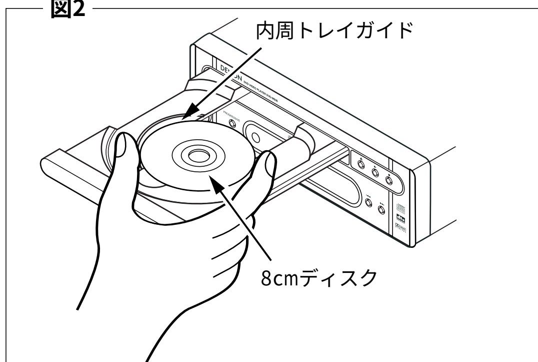


図2

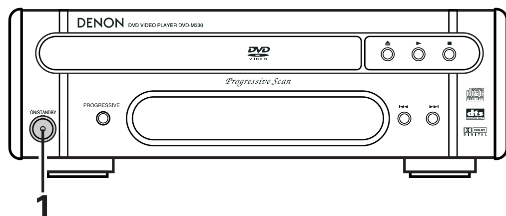


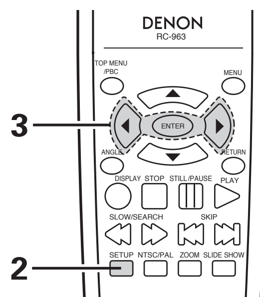
ご注意

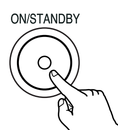
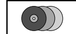
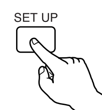
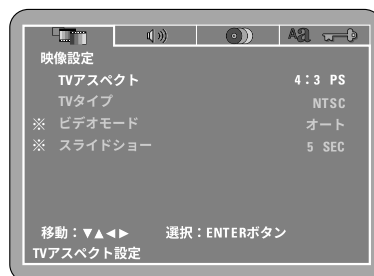
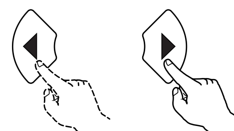
- 万一、指などを挟んだ場合は、あわてずにOPEN/CLOSEボタンを押してください。
- 電源が切られている状態でディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因となります。

12 初期設定の変更のしかた

★ **再生をはじめる前に、お客様のご使用状態に合わせて初期設定をおこなってください。**
初期設定は電源を切っても次に変更するまで保持されます。





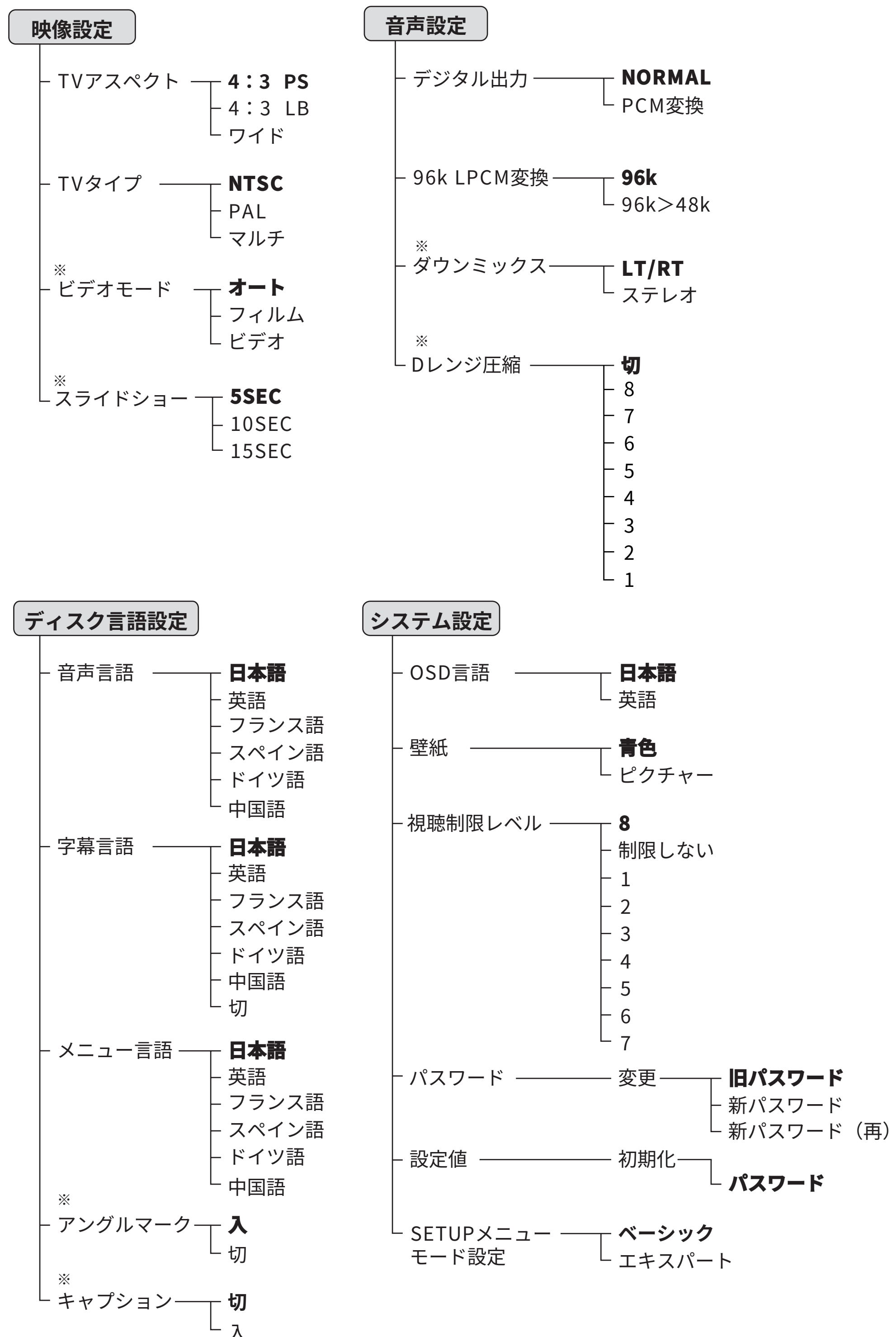
1	**電源を入れます。** ●本体の**電源ボタン**を押すと電源表示LEDが緑に点灯し、電源が入ります。	 ON/STANDBY （本体）
2	**停止中にSETUPボタンを押します。** ※再生中でも、一部の項目については初期設定を変更することができます。 ●初期設定画面が表示されます。 **映像設定：**  ご使用されるテレビに合わせた画面モードおよび映像出力モードを設定します。 **音声設定：**  本機の音声出力モードを設定します。 **ディスク言語設定：**  ディスクに準備されている各種言語が設定できます。 設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語が選択されます。 **システム設定：**  OSD言語設定：初期設定画面の言語設定などや視聴制限レベル：お子様などに見せたくない成人向DVDの再生が制限できます。また、初期設定の項目を増やすことができます。	 SET UP （リモコン）  ※印の表示については、28ページ参照
3	**カーソルボタン（◀,▶）で設定する項目を選択します。** ●**「映像設定」**を選択（29、30ページ参照） ●**「音声設定」**を選択（31、32ページ参照） ●**「ディスク言語設定」**を選択（33、34ページ参照） ●**「システム設定」**を選択（35～37ページ参照）	 （リモコン）

※ **初期設定を終了するときは**
RETURNボタンを押すか、または**SETUPボタン**を押します。

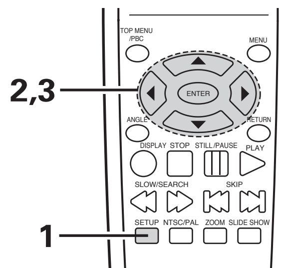
初期設定の変更のしかた（つづき）

【初期設定項目一覧表】

※ 工場出荷時は太字の項目に設定されています。
※ ※印は、システム設定のSETUPメニューモードがエキスパート設定時に表示します。

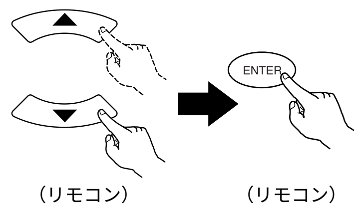


『映像設定』を変更するには



1

27ページの操作1～3をおこないます。



（リモコン）　　（リモコン）

2

カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択します。

TVアスペクト
ご使用されるテレビの画面サイズに応じて設定ができます。

TVタイプ
ご使用されるテレビの映像方式（NTSC、PAL、マルチ）に応じて設定ができます。
- **日本国内の映像方式はNTSCです。**

ビデオモード
オート・フィルム・ビデオの中から選択できます。

スライドショー
JPEG画像を連続再生するときの、画像が切り替わる時間を設定できます。

注：ビデオモード、スライドショーは、システム設定のSETUPメニューモードがエキスパート設定時に表示します。



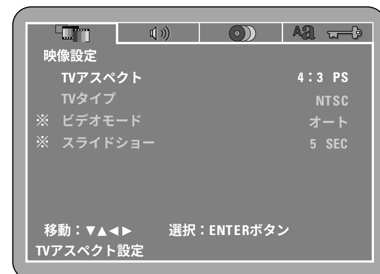
3

■『TVアスペクト』を選択したとき
ENTERボタンを順次押して、アスペクトを選択します。

◎ **4：3 PS ＜工場出荷時＞**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。
ワイド画面で記録されているソフトでは、パン＆スキャン（左右の切れた画面）で再生します。ただしパン＆スキャン指定されていないソフトはレターボックスで再生します。

◎ **4：3 LB**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。
ワイド画面で記録されているソフトではレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。

◎ **ワイド**
ワイドテレビに接続したときに選択します。
ワイドソフトはフル画面で再生します。

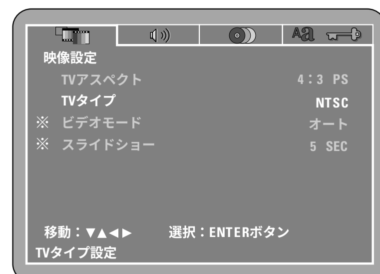


■『TVタイプ』を選択したとき
ENTERボタンを順次押して、タイプを選択します。

◎ **NTSC ＜工場出荷時＞**
通常は『NTSC』を選択してください。
（日本国内で使われているテレビはNTSC方式です。）

◎ **PAL**
ご使用のテレビがPAL方式のときに選択します。

◎ **マルチ**
ご使用のテレビがNTSC方式とPAL方式を兼用しているときに選択します。



次ページへつづく

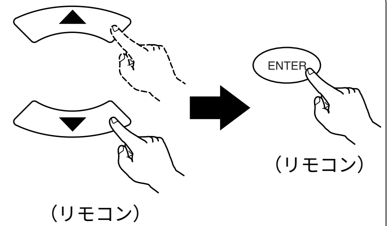
3 つづき

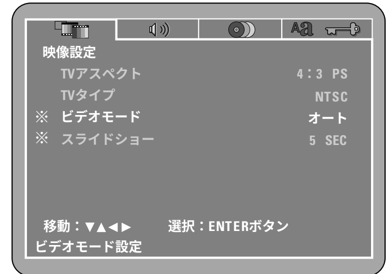
■『ビデオモード』を選択したとき
ENTERボタンを順次押して、ビデオモードを選択します。

◎ **オート＜工場出荷時＞**
ディスクから素材のタイプ（フィルムまたはビデオ）を判定して、モードを切り替えます。フィルム素材とビデオ素材が混在しているディスクの再生に適しています。

◎ **フィルム**
フィルム素材、またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材のディスクの再生に適しています。

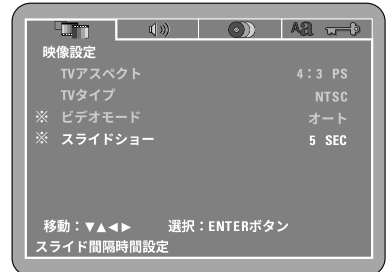
◎ **ビデオ**
ビデオ素材時のディスクの再生に適しています。





■『スライドショー』を選択したとき
ENTERボタンを順次押して、画像が切り替わる時間を選択します。

◎ **5SEC＜工場出荷時＞**
◎ **10SEC**
◎ **15SEC**



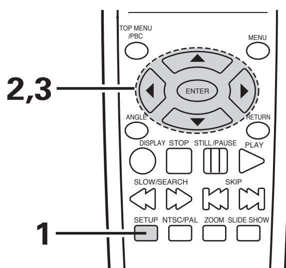
『ビデオモード』を選択したときのご注意

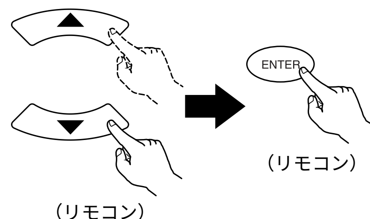
● 特定のDVDビデオディスクを再生した際に、映像にスジ状のノイズが入ったり、不鮮明になったときは、ビデオモードの設定を変えてみてください。

※ **初期設定を終了するときは**
RETURNボタンを押すか、または**SETUPボタン**を押します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『音声設定』を変更するには



1	**27ページの操作1～3をおこないます。**	
2	**カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択します。** **デジタル出力** デジタル出力の信号形式の設定ができます。 **96kLPCM変換** リニアPCM音声で記録されたDVD再生時のデジタル音声出力の設定ができます。 **ダウンミックス** 接続する機器に合わせて設定します。 **Dレンジ圧縮** DVDを再生したときに出力される音のダイナミックレンジを8段階に設定できます。小さい音量でも迫力ある音にしたいときに選びます。深夜など小さい音量で楽しまれる場合に適しています。（ドルビーデジタルで記録されたDVDの再生に限ります。） **注：ダウンミックス、Dレンジ圧縮はシステム設定のSETUPメニューモードがエキスパート設定時に表示します。**	
3	**■『デジタル出力』を選択したとき** ◎ **NORMAL <工場出荷時>** 本機のデジタル音声出力端子とドルビーデジタルまたはDTSデコーダ内蔵AVアンプを接続するときに選択します。 ドルビーデジタルまたはDTSで記録されたDVDを再生したとき、それぞれのビットストリーム信号を出力します。また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときはリニアPCMで出力します。 ◎ **PCM変換** ドルビーデジタルで記録されたDVDを再生したときは、48kHz/16bitのPCM（2ch）に変換して出力します。 また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときは、リニアPCMで出力します。	

次ページへつづく

初期設定の変更のしかた（つづき）

3 つづき

■『96kLPCM変換モード』を選択したとき
ENTERボタンを順次押して、変換モードを選択します。

◎ **96k<工場出荷時>**
著作権保護のないリニアPCMのDVDの場合、96kHzまでの2ch音声については変換せずにそのままのリニアPCM信号をデジタル出力することができます。
著作権保護処理がされたリニアPCMのDVDを再生する場合、48kHz/16bitを超えるソースは著作権への配慮からデジタル出力されません。このようなソースを再生する場合は『変換する』に設定するか、アナログ接続をおこなってください。（19ページ参照）

◎ **96k＞48k**
リニアPCM信号を48kHz以下に変換して出力します。（PCM音声のデジタル出力は著作権への配慮から48kHz以下になります。）
96kHz/88.2kHz未対応のAVアンプなどにデジタル接続する場合、『96k＞48k』にしてください。
なお、デジタル出力とアナログ出力を同時に出力する設定の場合、リニアPCMで記録されたDVDを再生するときは、アナログ音声も48kHz以下に変換された音声が出力されますので、『変換しない』に設定してアナログ接続することをおすすめします。(19ページ参照)
（『96k LPCM変換』を『96k>48k』に設定した場合、アナログ出力も48kHz以下になります。）

■『ダウンミックス』を選択したとき
ENTERボタンを順次押して、出力の信号形式を選択します。

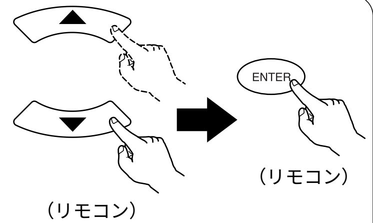
◎ **LT/RT<工場出荷時>**
ドルビープロロジックデコーダーに接続するときに設定します。

◎ **ステレオ**
ステレオ機器に接続するときに設定します。

■『Dレンジ圧縮』を選択したとき
ENTERボタンを順次押してレベルを選択します。

◎ **切<工場出荷時>**
標準的なダイナミックレンジに設定します。

◎ **レベル**
レベルの数値が大きくなる程、小さい音量でも迫力のある音になります。深夜など小さい音量で楽しまれる場合に適しています。（ドルビーデジタルで記録されたDVDの再生に限ります）



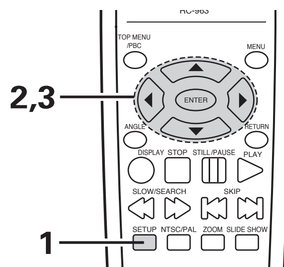






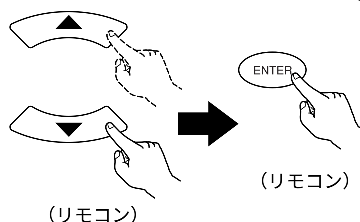
※ 初期設定を終了するときは
RETURNボタンを押すか、または**SETUPボタン**を押します。

『ディスク言語設定』を変更するには



1

27ページの操作1～3をおこないます。



2

カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択します。

音声言語
スピーカーから出力される音声言語の設定ができます。

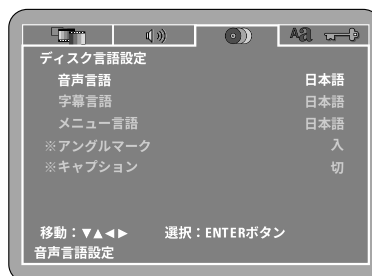
字幕言語
TVに表示される字幕言語の設定ができます。

メニュー言語
トップメニュー（ディスクに記録されているメニュー）などの画面言語の設定ができます。

アングルマーク
画面上にアングルマークを表示/非表示します。

キャプション
DVDに記録されているクローズドキャプション（字幕）を画面に表示させるか、させないかの設定ができます。（字幕を表示させるには、キャプションデコーダー（市販）が必要です。）

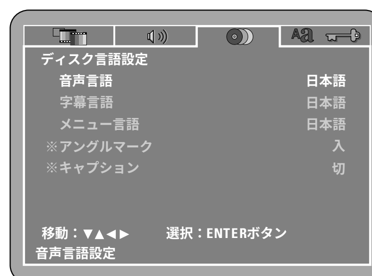
注：アングルマーク、キャプションはシステム設定のSETUPモードがエキスパート設定時に表示します。



3

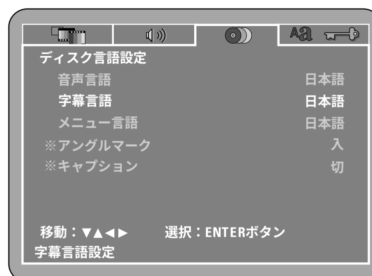
■『音声言語』を選択したとき
ENTERボタンを順次押して、言語を選択します。

- ◎ **日本語＜工場出荷時＞**
- ◎ **英語**
- ◎ **フランス語**
- ◎ **スペイン語**
- ◎ **ドイツ語**
- ◎ **中国語**



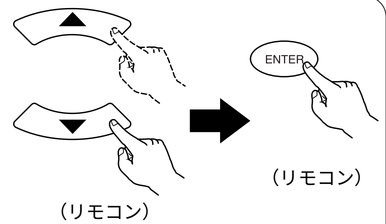
■『字幕言語』を選択したとき
ENTERボタンを順次押して、言語を選択します。

- ◎ **日本語＜工場出荷時＞**
- ◎ **英語**
- ◎ **フランス語**
- ◎ **スペイン語**
- ◎ **ドイツ語**
- ◎ **中国語**
- ◎ **切：**字幕を表示させないときに選択します。ディスクによっては、字幕表示を消すことができない場合があります。



次ページへつづく

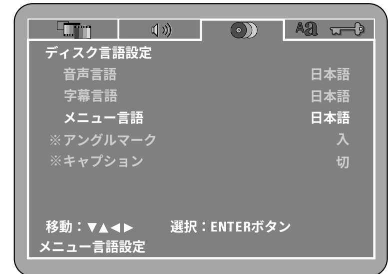
3 つづき



■『メニュー言語』を選択したとき

ENTERボタンを順次押して、言語を選択します。

◎ 日本語<工場出荷時>
◎ 英語
◎ フランス語
◎ スペイン語
◎ ドイツ語
◎ 中国語

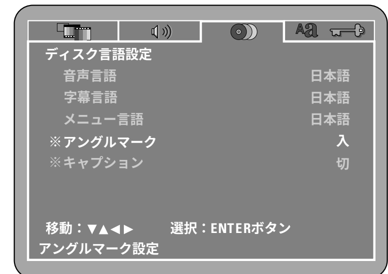


■『アングルマーク』を選択したとき

ENTERボタンを順次押して入、切を選択します。

◎ **入<工場出荷時>**
アングルが記録されている場面を再生するとアングルマークが表示されます。

◎ **切**
アングルが記録されている場面を再生してもアングルマークは表示されません。

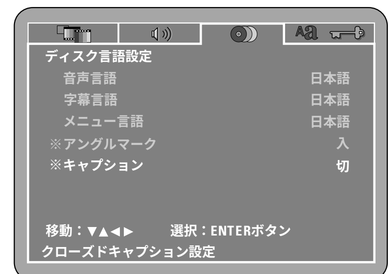


■『キャプション』を選択したとき

ENTERボタンを順次押して入、切を選択します。

◎ **切<工場出荷時>**
キャプション（字幕）は表示されません。

◎ **入**
キャプション（字幕）入りDVDを再生し、そのキャプション（字幕）を画面に表示するときに選択します。

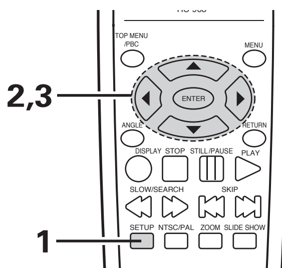


※ **初期設定を終了するときは**
RETURNボタンを押すか、または**SETUPボタン**を押します。

『キャプション』を選択したときのご注意

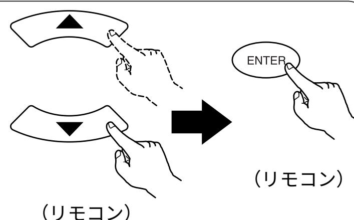
- 字幕を表示させるには、キャプションデコーダが必要です。
- 字幕信号入りのDVDには［マーク］、［マーク］、［CC］のマークが表示されています。字幕信号が入っていないDVDでは字幕は出ません。
- 字幕の文字には大文字、小文字、イタリック文字（斜体）などがありDVDによって異なります。本機では選択できません。

『システム設定』を変更するには



1

27ページの操作1～3をおこないます。



2

カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択します。

OSD言語
初期設定画面の言語やTV画面に表示される “ プレイ ” などの言語の設定ができます。

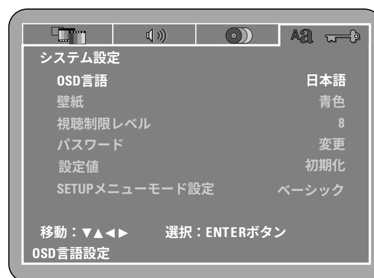
壁紙
停止中やCD再生中、TV画面に表示する画面の設定ができます。

視聴制限レベル
お子様などに見せたくない成人向けDVDの再生を制限できます。ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は、視聴制限できません。

パスワード
視聴制限レベルを変更する際に使用するパスワードを変更するときに使用します、パスワードの初期設定は “ 0000 ” です。

設定値
初期設定で変更した内容を初期値に戻すとき使用します。

SETUPメニューモード設定
初期設定の項目を増やすことができます。



3

■『OSD』を選択したとき
ENTERボタンを順次押して、言語を選択します。

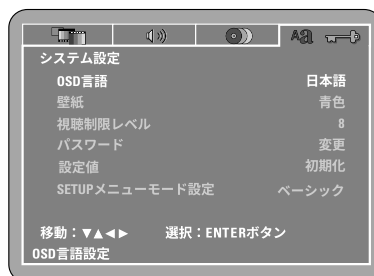
◎ **日本語＜工場出荷時＞**
OSDが日本語で表示されます。

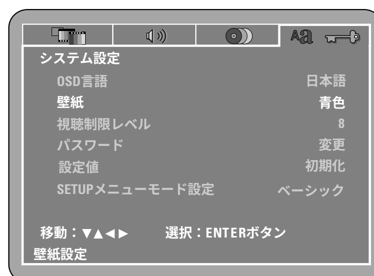
◎ **英語**
OSDが英語で表示されます。

■ 『壁紙』を選択したとき
ENTERボタンを順次押して、壁紙を選択します。

◎ **青色＜工場出荷時＞**
壁紙を青色にします。

◎ **ピクチャー**
壁紙をピクチャーにします。





次ページへつづく

3
つづき

■『視聴制限レベル』を選択したとき

① ENTERボタンを押します。

② 番号ボタンでパスワード（４桁の数字）を入力し、ENTERボタンを押します。

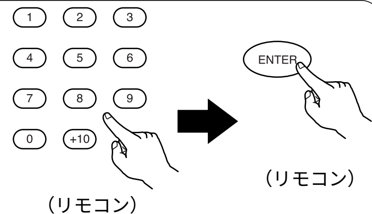
- パスワードの初期設定は“ 0000 ”です。
- パスワードを変更する場合は、『パスワード』で新しいパスワードに変更できます。（下記参照）

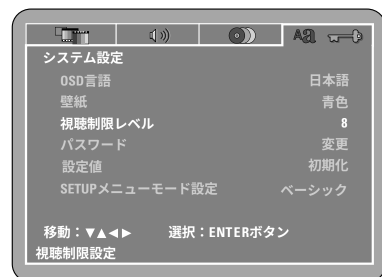
③ ENTERボタンを順次押して、レベルを選択します。

◎ **レベル8＜工場出荷時＞**

◎ **レベル1〜7**
レベルが小さくなるにつれて、制限がきびしくなります。

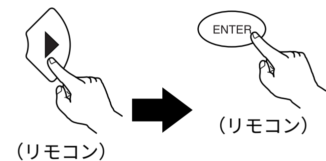
◎ **制限しない**
すべてのDVD（成人向け/一般向け/子供向け）を再生したいときに選択します。





■『パスワード』を選択したとき

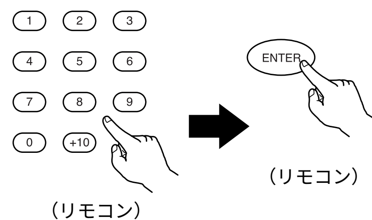
① ENTERボタンを押します。

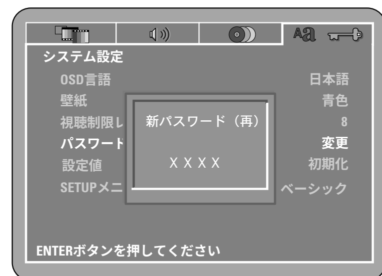




② 番号ボタンで前に設定したパスワード（４桁の数字）を入力し、次に新しいパスワードを入力して、再度新しいパスワードを入力後ENTERボタンを押します。

- パスワードの初期設定は“ 0000 ”です。
- **パスワードを忘れないようにしてください。**
- 正しいパスワードを入力しない限り設定内容を変更できません。





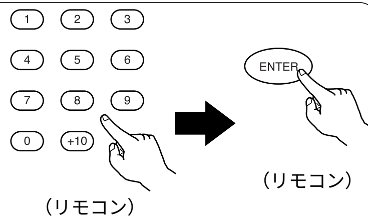
初期設定の変更のしかた（つづき）

3
つづき

■『設定値』を選択したとき

① ENTERボタンを押します。

② 番号ボタンで " パスワード " を入力し、ENTERボタンを押します。初期設定で変更した内容が初期値に戻ります。

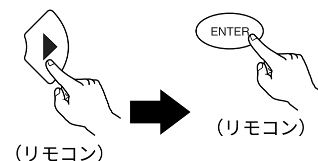


（リモコン）　（リモコン）

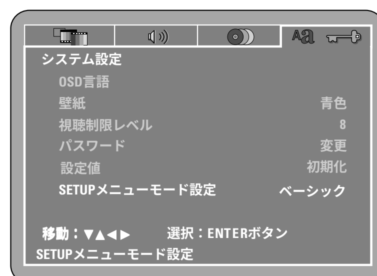


■『SET UPメニューモード』を選択したとき
ENTERボタンを順次押して、設定を選択します。

◎ ベーシック<工場出荷時>
◎ エキスパート
各設定の設定項目を増やすことができます。



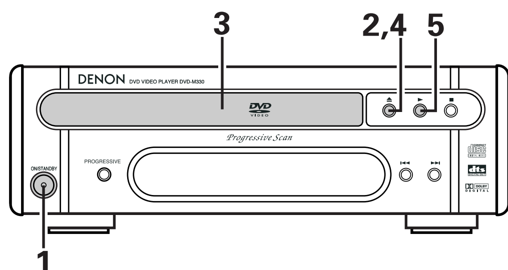
（リモコン）　（リモコン）

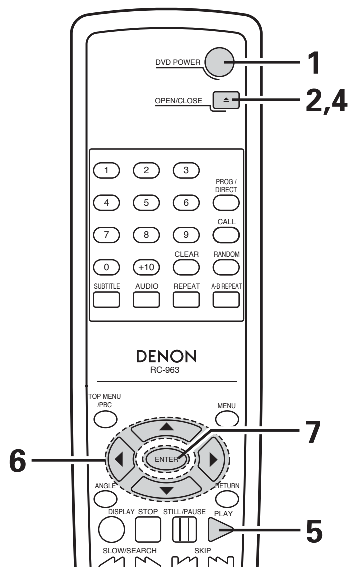


※ 初期設定を終了するときは
RETURNボタンを押すか、または**SETUPボタン**を押します。

13 再生のしかた

（1）再生のしかた





1	**電源を入れます。** ●本体の**電源ボタン**を押すと電源表示LEDが緑に点灯し、電源が入ります。 ●リモコンの**DVD POWERボタン**を押しても電源が入ります。	ON/STANDBY DVD POWER （本体）　（リモコン）
2	**OPEN/CLOSEボタンを押します。** ●ディスクトレイが開きます。	OPEN/CLOSE （本体）　（リモコン）
3	**ディスクトレイにディスクを載せます。**	
4	**OPEN/CLOSEボタンを押します。** ●ディスクトレイが閉まり、ディスクが本体に装着されます。	OPEN/CLOSE （本体）　（リモコン）

次ページへつづく

再生のしかた（つづき）

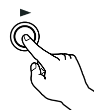
5

PLAYボタンを押します。

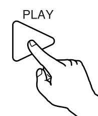
- インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDの多くのものは、メニュー画面が表示されます。このような場合、操作*6* で見たい項目を選択し再生をはじめてください。

インタラクティブなDVDとは

例えば複数のアングルや、ストーリーなどが収録されたDVDソフトです。

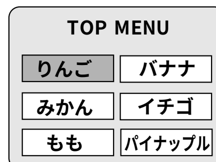


（本体）

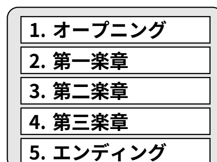


（リモコン）

【例】メニュー記録されたDVDのとき



【例】プレイバックコントロール付きビデオCDのとき

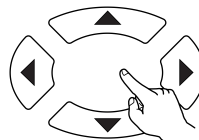


6

リモコンのカーソルボタン（▲,▼,◀,▶）を押し、見たい項目を選択します。

- ディスクによって異なりますが、**▶▶Iボタン**を押すとメニューの続きがある場合、続きのメニューを表示します。
  （ディスクのジャケットを参照してください。）

※ **ビデオCDのときは、カーソルボタン（▲,▼,◀,▶）が使えません。**番号ボタンで見たい項目を選択してください。

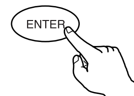


（リモコン）

7

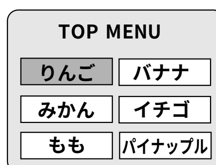
リモコンのENTERボタンを押します。

- 見たい項目が決定され、再生がはじまります。
- ディスクによっても異なりますが、DVD再生中は**TOP MENU/PBCボタン**または**MENUボタン**を押すとメニュー画面に戻すことができます。
- ビデオCD再生中は**RETURNボタン**を押すとメニュー画面に戻すことができます。

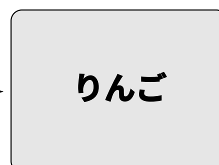


（リモコン）

【例】DVD“りんご”を選択したとき

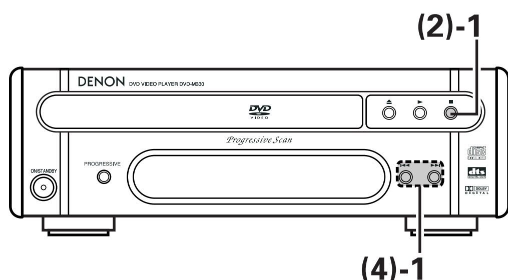


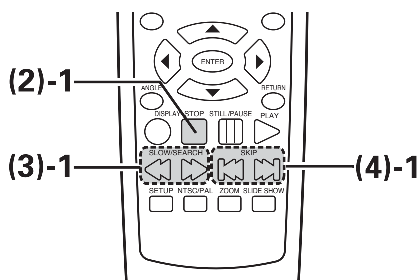




ご注意

- ボタン操作中、テレビ画面に 🚫 が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。
- ディスクはガイドに合わせて置いてください。
- トレイには2枚以上のディスクをのせないでください。





（2）再生の止めかた

1

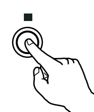
再生中にSTOPボタンを押します。

●再生が止まり、壁紙が表示されます。

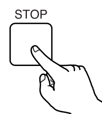
■ **続き再生メモリ機能について(DVDビデオ)**

● 再生中に**STOPボタン**を1度押すと止めた位置を記憶します。（この時、ディスプレイの“ ▶ ”が点滅し、rESUMEを表示します。）
PLAYボタンを押すと、止めたところから再生がはじまります。トレイを開けるか、もう一度**STOPボタン**を押すと続き再生メモリ機能は解除されます。
プレイ状態からスタンバイ状態にした後再び、電源もしくはPLAYボタンを押すとディスプレイに“ LAST SCAN ”が表示され、約10秒の間にPLAYボタンを押すと止めたところから再生が始まります。（約10秒の間にPLAYボタンを押さないとディスクの始めから再生を始めます。）

● 続けて演奏しないときは、節電のため本体の**電源ボタン**を押して電源を切るか、リモコンの**DVD POWERボタン**を押してスタンバイ状態にしてください。



（本体）



（リモコン）

※ 続き再生メモリ機能は、再生中に表示窓に経過時間が表示されるディスクで働きます。

ご注意

● システム接続を行いファンクションを切り替えた場合（オートファンクション）、続き再生は働きません。

（3）早送り/早戻しのしかた

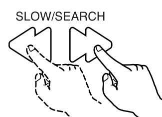
1

再生中にSLOW/SEARCHボタンを押します。

［◀◀：戻し方向、▶▶：送り方向］

●押すたびに、早送り/早戻しが速くなります。
CD・ビデオCDは3段階、DVDビデオは4段階可変できます。

●**PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。



（リモコン）

（4）頭出しのしかた

1

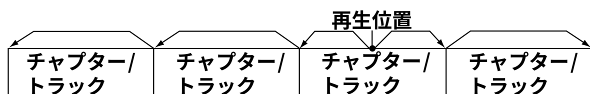
【SKIPボタンで頭出しする場合】

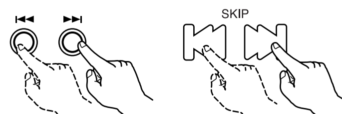
再生中にSKIPボタンを押します。

［I◀◀：戻し方向（リバース）、▶▶I：送り方向（フォワード）］

●押した回数だけチャプター/トラックを飛び越します。

●戻し方向に1回押すと再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。



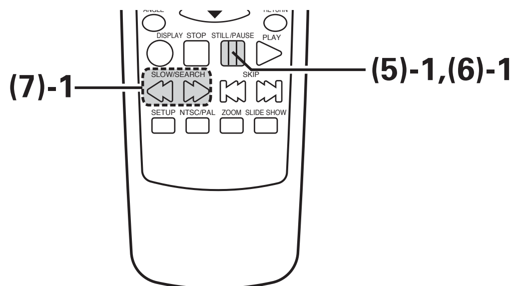


（本体）　（リモコン）

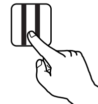
ご注意

● ビデオCD再生中、**SKIPボタン**を押すとメニュー画面に切り替わることがあります。

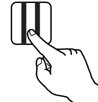
再生のしかた（つづき）



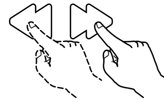
(5) 静止（一時停止）のしかた

1	**再生中にSTILL/PAUSEボタンを押します。** ● **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。	 （リモコン）

(6) コマ送り再生のしかた　(DVD のみ)

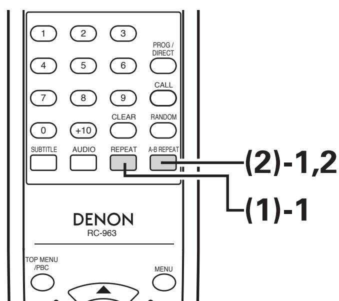
1	**再生中にSTILL/PAUSEボタンを押します。** ● **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。 ● 押すたびに1コマずつ再生します。	 （リモコン）

(7) スロー再生のしかた　(DVD のみ)

1	**静止中にSLOW/SEARCHボタンを押します。** ［◀◀：戻し方向、▶▶：送り方向］ ● 押すたびに、スロー再生の速度が速くなります。 再生速度は、3段階に可変できます。 ● **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。	 （リモコン）

14 くり返し再生する（リピート再生）

★ お気に入りの映像や音声をくり返して再生することができます。



ご注意

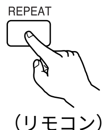
- リピート再生が働かないDVDもあります。
- 再生中ディスプレイに再生経過時間が表示されないディスクは、リピート再生およびA-Bリピート再生ができないことがあります。
- A-Bリピート再生中は、A-B間の前後の字幕が表示されないことがあります。
- ビデオCDでPBCがON状態のとき、リピート再生はできません。TOP MENU/PBCボタンを押してPBCをOFFしてください。

(1)くり返し再生する（リピート再生）

1

再生中にREPEATボタンを押します。

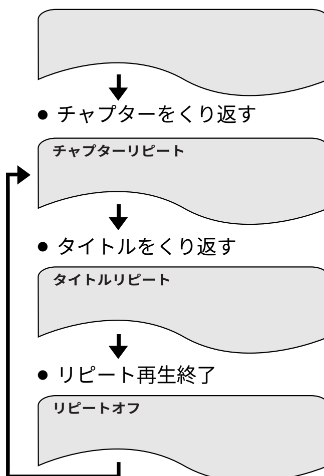
- 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わり、それぞれのくり返し再生をはじめます。



（リモコン）

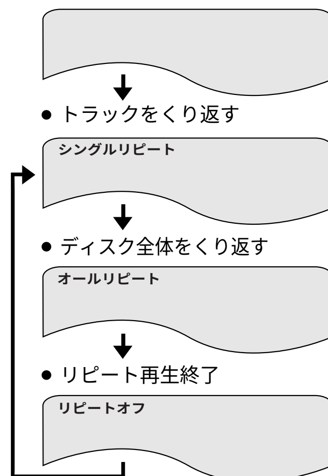
■ **DVDビデオの場合**

- 通常の再生
- チャプターをくり返す
- タイトルをくり返す
- リピート再生終了



■ **ビデオCDや音楽CDの場合**

- 通常の再生
- トラックをくり返す
- ディスク全体をくり返す
- リピート再生終了



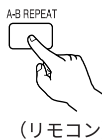
※ **通常の再生に戻すときは**
テレビ画面に“ リピートオフ ”が表示されるまで**REPEATボタン**を押すと、通常の再生に戻ります。

(2)指定した2点間をくり返して再生する（A-Bリピート再生）

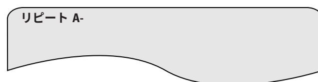
1

再生中にA-Bボタンを押します。

- 開始場所Aが指定されます。



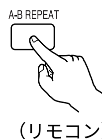
（リモコン）



2

もう一度A-Bボタンを押します。

- 終了場所Bが指定され、A-B間のくり返し再生がはじまります。



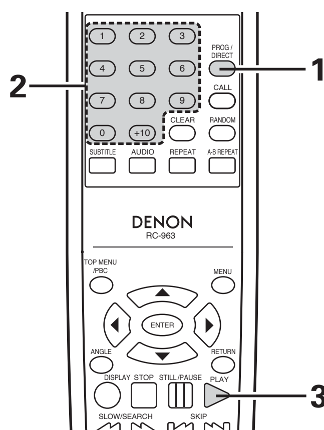
（リモコン）



※ **通常の再生に戻すときは**
テレビ画面に“ リピートオフ ”が表示されるまで**A-Bボタン**を押します。

15 好きな順に再生する（プログラム再生）

★ ビデオCDや音楽CDはトラック番号を予約して好きな順に再生することができます。
★ **DVDでは働きません。**



ご注意

● ビデオCDでPBCがON状態のとき、プログラム再生はできません。TOP MENU/PBCボタンを押してPBCをOFFしてください。

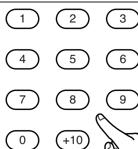
1 **停止中にPROG/DIRボタンを1回押します。**
● プログラム選択画面が表示されます。

PROG / DIRECT

（リモコン）

プログラム
No. トラック
01 --
モード ： ノーマル トータル時間 --:--:--
入力 ： 0-9,+10 クリア： CLEARボタン

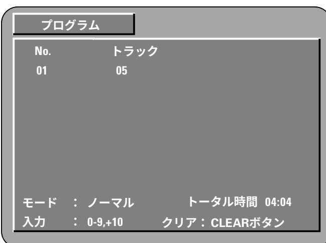
2 **番号ボタンで予約したい番号を1つ選択します。ENTERボタンを押します。さらに予約したい場合は、番号1つ選択するごとにENTERボタンを押してください。**
● 20曲までプログラムできます。



（リモコン）

【例】トラック5と12をプログラムする場合

番号ボタンの『5』を押しENTERボタン押します。



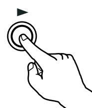
番号ボタンの『+10』を押します。



番号ボタンの『2』を押しENTERボタン押します。



3 **PLAYボタンを押します。**
● 予約した順に再生がはじまります。



（本体）



（リモコン）

※ **通常の再生に戻すには**
STOPボタンを押してプログラム再生を止め、**PROG/DIRボタン**を押します。
その後、**PLAYボタン**を押すとディスクの先頭から通常の再生がはじまります。

※ **予約を1つずつ取り消すには**
STOPボタンを押してプログラム再生を止めます。
▲,▼ボタンで消去したいプログラム番号を表示させ、CLEARボタンを押します。

※ **予約をすべて取り消すときは**
電源を切るか、本体からディスクを取り出すとすべて取り消されます。
また、**STOPボタン**を押してプログラム再生を止め、**PROG/DIRボタン**を押すとすべて取り消されます。

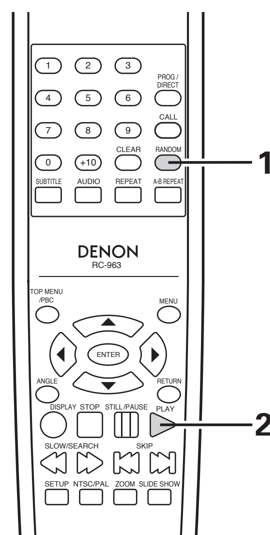
※ **プログラムされた内容を確認するには**
停止中に**CALLボタン**を押すとプログラムされた内容がステップごとに、ディスプレイに表示されます。

16 順不同に再生する（ランダム再生）

★ ビデオCDや音楽CDはトラック単位で順不同（ランダム）に再生することができます。
★ **DVDでは働きません。**

ご注意

● ビデオCDでPBCがON状態のとき、ランダム再生はできません。TOP MENU/PBCボタンを押してPBCをOFFしてください。

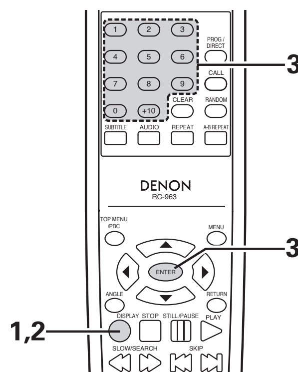


1	**停止中にRANDOMボタンを押します。** ●ランダム再生画面が表示されます。 ※ **ディスクによってはランダム再生ができない場合があります。**	RANDOM （リモコン） ランダムオン
2	**PLAYボタンを押します。** ●順不同に再生がはじまります。	PLAY （リモコン）

※ **通常の再生に戻すときは**
STOPボタンを押してランダム再生を止め、**RANDOMボタン**を1回押します。

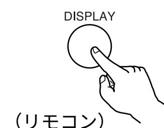
17 ON-SCREEN画面を使って操作する

★ ディスクに関する情報（タイトル/チャプター/時間）を表示したり、再生位置を指定することができます。



1

再生中にDISPLAYボタンを押します。
- ON-SCREEN画面が表示されます。
- 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わります。
- 表示される項目はディスクにより異なります。



（リモコン）

2

【例】DVDビデオの場合（通常の再生画面）



【例】ビデオCD/音楽CDの場合（通常の再生画面）

※ ビデオCD/音楽CDの場合、経過時間のみ切り替わります。

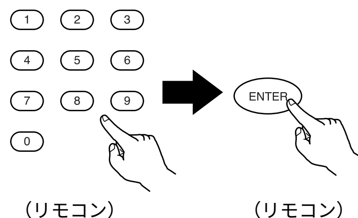


3

番号ボタンで再生位置を指定し、ENTERボタンを押します。

① 経過時間の指定
　リモコンの**カーソルボタン（◀,▶）**を押し、時間表示部を選択します。選択された項目は、黄色の枠で表示されます。
- DVDの場合
  【例】1時間32分47秒の場合→　『１３２４７』と押して、**ENTERボタン**を押します。
  1分26秒の場合→　『００１２６』と押して、**ENTERボタン**を押します。
- ビデオCD/音楽CDの場合
  【例】1分26秒の場合→　『０１２６』と押して、**ENTERボタン**を押します。

② タイトル、トラック、チャプターの指定
- DVDの場合
  リモコンの**カーソルボタン（◀,▶）**を押し、タイトルもしくはチャプター表示部を選択します。選択された項目は、黄色の枠で表示されます。
  番号ボタンで入力し、**ENTERボタン**を押します。
  （ディスクによっては指定できない場合があります。）
- ビデオCD/音楽CDの場合
  リモコンの**カーソルボタン（▲,▼）**を押し、トラック表示部を選択します。選択された項目は、黄色の枠で表示されます。
  番号ボタンを入力し、**ENTER**ボタンを押すとそのトラックから再生をはじめます。（ダイレクト選曲）

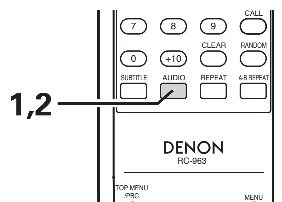


（リモコン）　（リモコン）

18 マルチ機能の使いかた

音声言語を切り替える(マルチ音声機能)

★ 複数の音声言語が記録されているDVDは、再生中に音声言語を切り替えることができます。



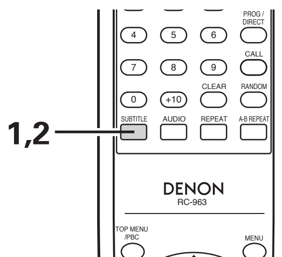
1	**再生中にAUDIOボタンを押します。** ● 現在再生中の音声番号が表示されます。	AUDIO（リモコン） 音声 1/3 DIGITAL 日本語
2	**AUDIOボタンを押し、お好みの言語にします。**	AUDIO（リモコン） 音声 2/3 DIGITAL 英語

ご注意

- ディスクによっては再生中に音声言語を切り替えられない場合があります。この場合にはDVDメニューで選んでください。（48ページ参照）
- **AUDIOボタン**を数回押しても希望の言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（33ページ参照）で設定されている言語になります。

字幕言語を切り替える(マルチ字幕機能)

★ 複数の字幕言語が記録されているDVDは、再生中に字幕言語を切り替えることができます。



1	**再生中にSUBTITLEボタンを押します。**	SUBTITLE（リモコン） 字幕言語 1/3 日本語
2	**SUBTITLEボタンを押し、お好みの字幕言語にします。**	SUBTITLE（リモコン） 字幕言語 2/3 英語

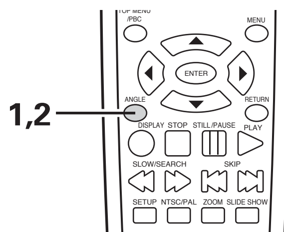
ご注意

- **SUBTITLEボタン**を数回押しても希望の字幕言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（33ページ参照）で設定されている字幕言語になります。なお、その言語がディスクにないときはディスクで決められている言語になります。
- 字幕言語を変更してからその言語が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

マルチ機能の使いかた（つづき）

アングル（角度）を切り替える(マルチアングル機能)

★ 複数のアングルが記録されているDVDは、再生中にアングルを切り替えることができます。



1	**再生中にANGLEボタンを押します。** ● 現在再生中のアングル番号が表示されます。	ANGLE （リモコン） 3/5
2	**ANGLEボタンでお好みのアングルにします。**	ANGLE （リモコン） 4/5

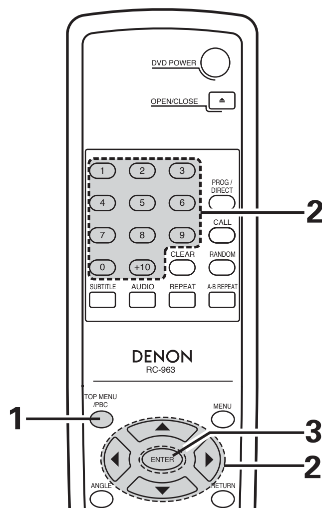
ご注意

- マルチアングル機能は複数のアングルが記録されているディスクで働きます。
- 複数のアングルが記録されている場面でアングルを切り替えることができます。

19 メニュー機能の使いかた

トップメニューを使う

★ 複数のタイトルが入っているDVDは、トップメニューからお好みのタイトルを選び再生することができます。

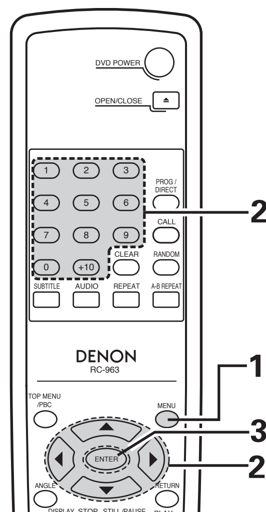


1	**再生中にTOP MENU/PBCボタンを押します。** ● トップメニューが表示されます。	TOP MENU /PBC （リモコン） **【例】** TOP MENU りんご　バナナ みかん　いちご もも　パイナップル
2	**カーソルボタンまたは番号ボタンでお好みのタイトルを選びます。** ※ **番号ボタン**で選んだ場合、手順***3*** は不要です。	（リモコン） または 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10 （リモコン） **【例】**『みかん』を選んだ場合 TOP MENU りんご　バナナ みかん　いちご もも　パイナップル
3	**ENTERボタンを押します。** ● 再生がはじまります。 ※ **PLAYボタン**を押しても、再生がはじまります。	ENTER （リモコン）

メニュー機能の使いかた（つづき）

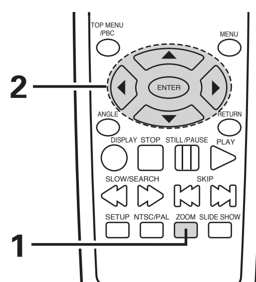
DVDメニューを使う

★DVDによっては、DVDメニューと呼ばれる特別なメニューが用意されているものがあります。
例えば、複雑な内容で編集されたDVDではガイドメニューが用意されていたり、多言語で収録されたDVDでは音声や字幕の言語メニューが用意されていたりします。これらのメニューを『**DVDメニュー**』と呼びます。本書では、DVDメニューの一般的な操作方法を紹介します。



1	**再生中にMENUボタンを押します。** ●DVDメニューが表示されます。	MENU （リモコン） **【例】** **DVD MENU** **1. 字幕** **2. 音声** **3. アングル**
2	**カーソルボタンまたは番号ボタンで項目を選びます。** ※**番号ボタン**で選んだ場合、操作***3*** は不要です。	（リモコン） または 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10 （リモコン） **【例】**『音声』を選んだ場合 **DVD MENU** **1. 字幕** **2. 音声** **3. アングル**
3	**ENTERボタンを押します。** ●選んだ項目が決定されます。 ※次々とメニューを表示させたいときは、操作***2 ,3*** をくり返してください。	ENTER （リモコン）

20 ズーム再生する



1	**再生中または一時停止中にZOOMボタンを押します。** ●ボタンを押すたびに倍率が上がります。 ◎ DVDビデオ：×2→×4→×16→OFF	ZOOM （リモコン）
2	**カーソルボタン（▲,▼,◀,▶）を押します。** ●ズーム画面が移動します。	（リモコン）

ご注意

- ディスクによってはズーム再生ができないものがあります。
- 場面によってはズーム再生が正しく働かないことがあります。
- トップメニュー、メニュー画面ではズーム再生できません。
- 拡大すると画質が悪化したり、画像がぶれることがあります。

21 MP3を再生する

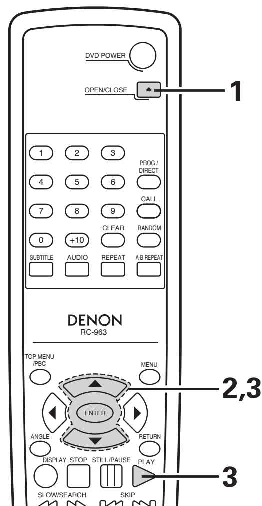
MP3のCD/CD-R/CD-RWを聴くには

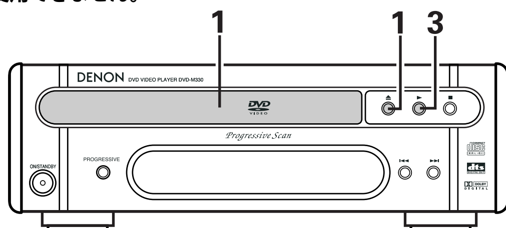
★インターネットのホームページ上には、MP3形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音配信サイトがあります。そのサイトに従って音楽をダウンロードし、CD-R/RWに書き込めば、本機で再生することができます。
市販の音楽CDに収録された音楽をパソコン上でMP3エンコーダー（変換ソフト）によりMP3ファイルに変換すれば、12cmCD1枚が約10分の1のデータ量になります。これをCD-R/RWに書き込めば約10枚分の音楽CDがたった1枚のCD-R/RWのMP3ファイルとして書き込むことができます。約100曲以上*の音楽が1枚のCD-R/RWで楽しめます。

*本機で認識できるフォルダとファイルの数は合計512までです。

*約5分の曲を標準的なビットレート128kbpsでMP3ファイルに変換し、容量650MBのCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその値です。

***あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。**





1

MP3形式の音楽ファイルを書き込んだCD-R/RWを本体にセットします。（26ページの「ディスクの入れかた」を参照してください。）

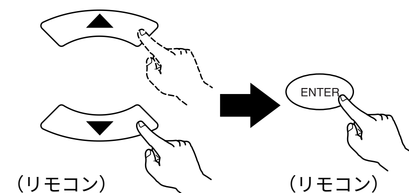
- 本体にディスクが装着されるとディスク情報画面が表示されます。
- 複数のフォルダがある場合は、操作***2*** に進みます。
- ディスクに記録されているフォルダがない場合は、操作***3*** に進みます。



2

リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で再生したいフォルダを選択し、リモコンのENTERボタンを押します。

※ **再生したいフォルダを変えたいときは**
リモコンの**カーソルボタン（▲）**で画面右上の“ ROOT ”表示を選択し、リモコンの**ENTERボタン**を押すとディスク情報画面が表示されますので、もう一度フォルダを選択し直してください。





次ページへつづく

MP3を再生する（つづき）

3

リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で再生したいMP3ファイルを選択し、PLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

● 再生をはじめます。

※リモコンの**DISPLAYボタン**を押すと、1曲経過時間（シングルタイム）と1曲残り時間（シングルリメイン）を切り替え表示することができます。

※**MP3のディスクではプログラム再生ができません。**

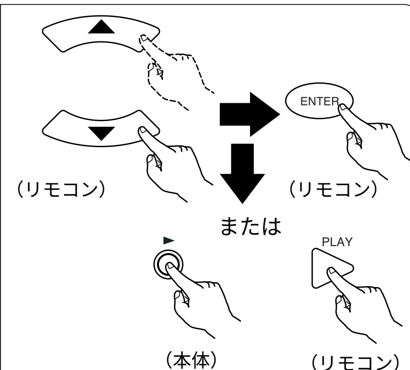
※**再生したいMP3ファイルを変えたいときは**
STOPボタンを押してから、リモコンの**カーソルボタン（▲,▼）**でもう一度選択し直してください。

※**ランダム再生するには**（P54のMP3とJPEGの特殊再生についても参照ください。）
停止中にリモコンの**RANDOMボタン**を押してから、**PLAYボタン**またはリモコンの**ENTERボタン**を押します。

※**リピート再生するには**（P54のMP3とJPEGの特殊再生についても参照ください。）
再生中または停止中にリモコンの**REPEATボタン**を押します。押すたびにリピートモードが変わります。

→フォルダー→フォルダーリピート→ディスク→オールリピート→シングルリピート→

※**初期のディスク情報画面に戻すときは**
STOPボタンを押して再生を止め、リモコンの**カーソルボタン（▲）**で画面右上の " ROOT " 表示を選択し、リモコンの**ENTERボタン**を押します。（操作*1* のディスク情報画面に戻ります。）





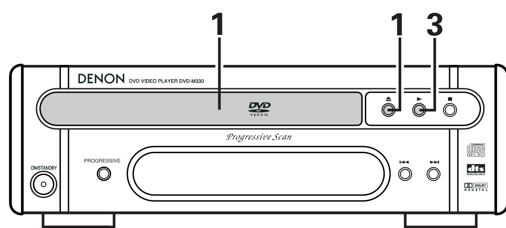
ご注意

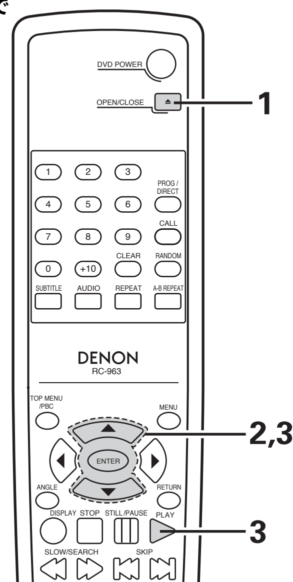
- 本機で対応している規格は『MPEG-1 Audio Layer-3』（サンプリング周波数fsは32、44.1、48kHz）です。それ以外の『MPEG-2 Audio Layer-3』、『MPEG-2.5 Audio Layer-3』およびMP1、MP2などには対応していません。
- MP3のディスクではプログラム再生ができません。
- MP3を再生したときのデジタル出力は、初期設定の音声設定が『ノーマル』『PCM変換』に関わらずMP3をPCMに変換して出力します。
また、記録されている音楽ソースのサンプリング周波数で出力します。
- MP3ファイルの再生順序は、CD-R/RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があるため任意の再生順序とは異なる場合があります。
- MP3ファイルをCD-R/RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは『ISO9660レベル1』を選択してください。他のフォーマットで記録された場合、正常に再生できないことがあります。ライティングソフトによっては『ISO9660』フォーマットで記録できないものがあります。『ISO9660』フォーマットのライティングソフトをご使用ください。
- 音楽CD（CDA形式）、MP3およびJPEG以外のファイルが書き込まれたCD-R/RWは再生しないでください。ファイルの種類によっては誤動作および故障の原因になります。
- ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。
- 一般にMP3ファイルはビットレートが高いほど音質が良くなります。本機では128kbps以上のビットレートで記録されたMP3のご使用をおすすめします。
- 本機はフォルダネームとファイルネームをタイトルのように表示することが可能です。半角の英数大文字と＿（アンダースコア）を8文字まで表示できます。また、漢字・ひらがな・カタカナ・その他の記号で記録されたフォルダネームとファイルネームは表示されません。
- MP3ファイルには必ず拡張子『.MP3』を付けてください。『.MP3』以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。
（マッキントッシュのパソコンの場合、半角英数大文字8文字以内のファイルネームの最後に拡張子『.MP3』を付けてCD-R/RWに記録することにより、MP3ファイルの再生が可能です。）
- CD/CD-R/RWのレーベル面や記録面にシールやテープなどを貼らないでください。のりなどがディスク表面に付着すると、本機の内部にディスクが残り、取り出せなくなる恐れがあります。
- パケットライトソフトには対応していません。
- ID3-Tagには対応していません。
- プレイリストには対応していません。

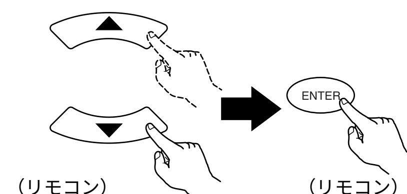
22 静止画ファイル（JPEG方式）を再生する

（1）CD-R/CD-RWに記録した静止画の再生のしかた

*あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。



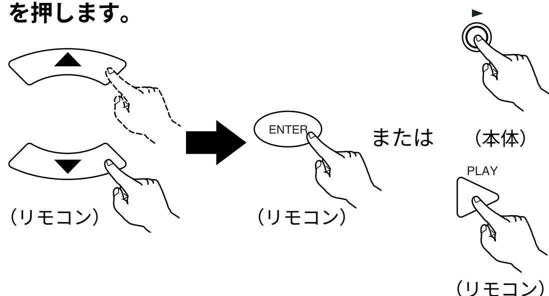


1	**静止画を記録したCD-R/RWを本体にセットします。** ●本体にディスクが装着されるとディスク情報画面が表示されます。 ●複数のフォルダがある場合は、操作***2*** に進みます。 ●ディスクに記録されているフォルダがない場合は、操作***3*** に進みます。	
2	**リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で再生したいフォルダを選択し、リモコンのENTERボタンを押します。** **※ 再生したいフォルダを変えたいときは** リモコンの**カーソルボタン（▲）**で画面右上の“ ROOT ”表示を選択し、リモコンの**ENTERボタン**を押すとディスク情報画面が表示されますので、もう一度フォルダを選択し直してください。	

次ページへつづく

静止画ファイル（JPEG方式）を再生する（つづき）

3 **リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で再生したい静止画ファイルを選択し、PLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。**





※ **再生する静止画を選択したいときは**
停止中にリモコンの**MENUボタン**を押し、静止画を一度に表示させてから**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**で選択して、**ENTERボタン**を押してください。

※ **再生を一時停止したいときは**
リモコンの**STILL/PAUSEボタン**を押してください。
再度再生したいときは**PLAYボタン**を押してください。

※ **再生する静止画の頭出しをしたいときは**
再生中に**SKIPボタン（I◄◄,►►I）**を押してください。
I◄◄ボタン：1つ前の静止画を表示します。
►►Iボタン：次の静止画を表示します。

※ **静止画の向きを変えたいときは**
再生中または一時停止中にリモコンの**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**を押してください。
▲ ： 再生している静止画を180°反転します。
▼ ： 再生している静止画を鏡に写したように左右を反転します。
◄ ： 再生している静止画を反時計方向に90°回転します。
► ： 再生している静止画を時計方向に90°回転します。

※ **記録されている静止画を一度に表示したいときは**
停止中にリモコンの**MENUボタン**を押してください。
最大9つの静止画を一度に表示します。

※ **画像をズーム再生したいときは**
再生中にリモコンの**ZOOMボタン**を押し（このとき画面に“ズームオン”が表示されます。）、**SLOW/SEARCHボタン（◄◄,►►）**を押してください。
◄◄ボタン：画像を縮小します。（25%、50%）
►►ボタン：画像を拡大します。（150%、200%）
また、拡大した場合は**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**でズーム画面を移動させることができます。
（ズームモードでの連続再生（スライドショー）はできません。）

※ **スライドショーモードを選択したいときは**
リモコンの**SLIDE SHOWボタン**を押してください。
JPEG画像を連続再生するときの画像の切り替わりかたを『スライドショーモード1〜11』/『RANDOM』/『NONE（特殊切り替えモードなし）』から選択できます。

MP3とJPEGの特殊再生について

◎ **フォルダー**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内のMP3ファイルとJPEGファイルを順次再生します。

◎ **フォルダーリピート**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内のすべてのMP3ファイルとJPEGファイルをくり返し再生します。

◎ **ディスク**
選択したファイルから再生をはじめ、ディスク内のすべてのMP3ファイルとJPEGファイルを順次再生します。

◎ **オールリピート**
選択したファイルから再生をはじめ、ディスク内のすべてのMP3ファイルとJPEGファイルをくり返し再生します。

◎ **シングルリピート**
選択したMP3ファイルまたはJPEGファイルをくり返し再生します。

◎ **ランダムオン**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内のすべてのMP3ファイルとJPEGファイルを順不同に再生します。

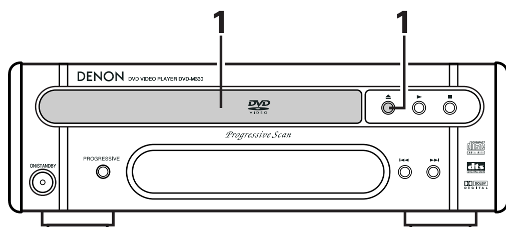
ご注意

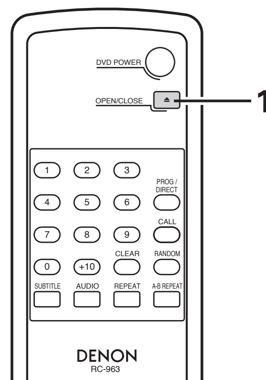
- 本機はJPEG形式で記録された画像データに対応していますが、すべてのJPEG形式の画像データの再生を保証するものではありません。
- 解像度が2048×1536pixelまで表示できます。
- JPEGファイルをCD-R/RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは『ISO9660レベル1』でおこなってください。
- 音楽CD（CDA形式）、MP3およびJPEG以外のファイルが書き込まれたCD-R/RWは再生しないでください。ファイルの種類によっては誤動作および故障の原因になります。
- ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。
- JPEGファイルには必ず拡張子『.JPG』または『.JPE』を付けてください。『.JPG』または『.JPE』以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。
（マッキントッシュのパソコンで書き込まれたJPEGファイルは再生できません。）
- CD/CD-R/RWのレーベル面や記録面にシールやテープなどを貼らないでください。のりなどがディスク表面に付着すると、本機の内部にディスクが残り、取り出せなくなる恐れがあります。

（2）ピクチャーCDの再生のしかた

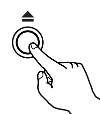
★本機はコダック（株）が扱っているピクチャーCDを再生することができます。ピクチャーCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。

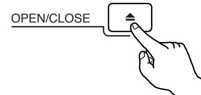
※ピクチャーCDは従来の銀塩フイルムカメラで撮った写真をデジタルデータに変換してCDに書き込むサービスです。ピクチャーCDに関する詳細は、コダック（株）の現像サービスを取扱っている店頭にお問い合わせください。





1 **ピクチャーCDを本体にセットします。**
- 本体にディスクが装着されると自動的に静止画の再生をはじめます。


（本体）



（リモコン）

※ 再生する静止画を選択したいときは
停止中にリモコンの**MENUボタン**を押し、静止画を一度に表示させてから**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**で選択して、**ENTERボタン**を押してください。

※ 再生を一時停止したいときは
リモコンの**STILL/PAUSEボタン**を押してください。
再度再生したいときは**PLAYボタン**を押してください。

※ 再生する静止画の頭出しをしたいときは
再生中に**SKIPボタン（I◄◄,►►I）**を押してください。
I◄◄ボタン：1つ前の静止画を表示します。
►►Iボタン：次の静止画を表示します。

※ 静止画の向きを変えたいときは
再生中または一時停止中にリモコンの**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**を押してください。
▲ ： 再生している静止画を180 ° 反転します。
▼ ： 再生している静止画を鏡に写したように左右を反転します。
◄ ： 再生している静止画を反時計方向に90 ° 回転します。
► ： 再生している静止画を時計方向に90 ° 回転します。

※ 記録されている静止画を一度に表示したいときは
停止中にリモコンの**MENUボタン**を押してください。
最大9つの静止画を一度に表示します。

※ 画像をズーム再生したいときは
再生中にリモコンの**ZOOMボタン**を押し（このとき画面に“ ズームオン ”が表示されます。)、**SLOW/SEARCHボタン（◄◄,►►）**を押してください。
◄◄ボタン：画像を縮小します。（25%、50%）
►►ボタン：画像を拡大します。（150%、200%）
また、拡大した場合は**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**でズーム画面を移動させることができます。
（ズームモードでの連続再生（スライドショー）はできません。）

※ スライドショーモードを選択したいときは
リモコンの**SLIDE SHOWボタン**を押してください。
JPEG画像を連続再生するときの画像の切り替わりかたを『スライドショーモード1～11』/『RANDOM』/『NONE（特殊切り替えモードなし）』から選択できます。

23 システム機能について

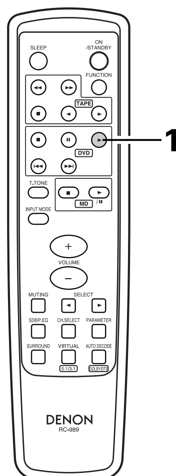
（1）システム接続について

★ 本機をAVC-M330、DMD-M33、DRR-M33とシステム接続をすると、便利なシステム機能が働きます。
（接続のしかたは、AVアンプ（AVC-M330）の取扱説明書を参照してください。）
★ 各機器を操作するシステム機能の信号は、すべてAVアンプ（AVC-M330）から出力されます。
従って、システム接続するときは必ずAVアンプ（AVC-M330）を接続してください。
※ 各操作の説明で使用するシステムリモコンのイラストは、AVC-M330に付属のシステムリモコン（RC-989）です。

（2）オートパワーオン機能（AVC-M330とシステム接続時）

★ システムがスタンバイ状態のときに、リモコンのプレイボタン（▶）を押すだけでAVアンプと本機の電源が入り、Discの再生をおこなうことができます。

システムリモコン



1 **プレイボタンを押します。**

● AVアンプと本機の電源が入り、AVアンプのファンクションが自動的に『DVD』に切り替わります。
その後、Discが装着されている場合はDiscの再生がはじまります。



（リモコン）

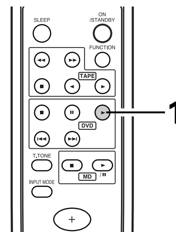
（3）オートファンクション機能（AVC-M330とシステム接続時）

★ ボタン1つの操作でファンクションを『DVD』に切り替えて、Discの再生をおこなうことができます。

DVD-M330(本機)



システムリモコン



1 **本機以外の機器（MDレコーダーまたはカセットデッキ）の再生中にプレイボタンを押します。**

● 再生中の機器の再生が停止します。
同時にAVアンプのファンクションが『DVD』に切り替わり、Discの再生がはじまります。



（本体）（リモコン）

※ Disc装着中にファンクションを切り替えた時などDVDが停止しない場合があります。この様な時はDVD停止ボタンを押してください。

（4）CDシンクロ録音機能（AVC-M330、DMD-M33またはDRR-M33とシステム接続時）

★ CD→MDまたはCD→TAPEへ簡単に録音することができます。詳細はAVC-M330の取扱説明書をご覧下さい。
※ DVD DiscではCDシンクロ録音機能が働きません。同機録音機能をご使用ください。

24 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■各接続は正しいですか
■取扱説明書に従って正しく操作していますか

正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　　象	チェック項目	関連ページ
電源が入らない。	● 電源プラグを電源コンセントへしっかりと差し込んでください。	15～19、7
再生ボタンを押しても、再生がはじまらない。 または、すぐに停止する。	● 結露していませんか。（1、2時間放置してください。） ● 8ページにあるマークがついたディスク以外は再生できません。 ● ディスクが汚れているのできれいに拭いてください。	7 8 12
映像が映らない。	● 接続を確認してください。 ● VIDEO OUT端子、S端子とテレビを接続しているときは、『P.SCAN』を消灯させてください。 ● テレビの入力を『ビデオ』にしてください。	15～19 15、16 —
音が聞こえない。 または、聞きづらい。	● 接続を確認してください。 ● テレビ、ステレオなどの入力を正しく設定してください。 ●『デジタル出力』または『ダイナミックレンジ圧縮』の設定を確認してください。	15～19 — 31、32
ビデオCDのメニュー再生ができない。	● プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。	39
早送り/早戻しをしたら画像が乱れる。	● 多少乱れが生じることがありますが、故障ではありません。	—
各ボタン操作ができない。	● ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。	39
字幕が出ない。	● 字幕の入っていないDVDは字幕が表示されません。 ● 字幕が『表示しない』になっていますので、字幕を設定してください。	— 33、34
音声（または字幕）言語が切り替えられない。	● 複数の言語が入っていないディスクは切り替えられません。 ● 音声（または字幕）切り替え操作では切り替えられず、DVDメニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。	— 48、49
アングルを変えて見ることができない。	● 複数のアングルが記録されていないDVDは、アングルを切り替えられません。また、複数のアングルは特定の場面のみ記録されているものがあります。	47
タイトルを選択しても再生がはじまらない。	●『視聴制限レベル』の設定を確認してください。	35、36
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。	● 以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 P37の操作3の②で“ 1470 ”を入力します。	—
初期設定で選択した音声言語、字幕言語にならない。	● DVDにその言語の音声や字幕が入っていないときは選択している言語になりません。	33、34
4：3（16：9）の画像で映らない。	● お手持ちのテレビに合わせて『TV アスペクト』の項目を正しく設定してください。	29
希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない。	● 初期設定の『ディスク言語設定』の『メニュー言語』を確認してください。	33、34
リモコンで操作できない。	● 乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れてください。 ● 乾電池が消耗していますので、新しい乾電池に交換してください。 ● リモコン受光部に向けて操作してください。 ● リモコン受光部との距離が7m以内のところで操作してください。 ● リモコン受光部との間にある障害物を取り除いてください。	23 23 23 23 23

25 主な仕様

■信号形式	NTSC/PAL
対応ディスク	(1) DVDーVIDEOディスク 12cm片面1層、12cm片面2層、12cm両面2層（片面1層）、 8cm片面1層、8cm片面2層、8cm両面2層（片面1層） (2) コンパクトディスク（CDーDA、VIDEO CD） 12cmディスク、8cmディスク
S映像出力	Y出力レベル：1Vp-p（75Ω）　C出力レベル：0.286Vp-p 出力端子TT：S端子　1系統
映像出力	出力レベル：1Vp-p（75Ω）　出力端子：ピンジャック　1系統
コンポーネント出力	Y出力レベル：1Vp-p（75Ω） PB/CB出力レベル：0.7Vp-p（75Ω） PR/CR出力レベル：0.7Vp-p（75Ω） 出力端子：D2端子　1系統
アナログ音声出力	出力レベル：2Vrms 2チャンネル（L/R）出力端子：ピンジャック1系統
音声出力特性	(1) 周波数特性 ① DVD（リニアPCM）：8Hz〜22kHz（48kHzサンプリング） ：8Hz〜44kHz（96kHzサンプリング） ② CD：8Hz〜20kHz（EIAJ） (2) S/N比 ① DVD：110dB ② CD：110dB（EIAJ） (3) 全高調波歪率 ① DVD：0.006% ② CD：0.004%（EIAJ） (4) ダイナミックレンジ ① DVD：100dB ② CD：95dB（EIAJ）
デジタル音声出力	光出力端子　2系統
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	15W（スタンバイ時：1W）
最大外形寸法	210（幅）×70（高さ）×317（奥行き）mm（突起物を含む）
質量	2.1kg

■リモコン	（RC-963）
リモコン方式	赤外線パルス式
乾電池	R03/AAA（単4形）乾電池2本使用
外形寸法	50（幅）×199（高さ）×27（奥行き）mm
質量	125g（乾電池を含む）

MEMO

株式会社デノン

本　社　〒104-0033　東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー　14F

お客様相談センター　TEL：（03）6731-5555
受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　-　-　）
ご購入年月日：　年　月　日	

Printed in China　00D 511 4252 008